

第三十九回帝國議會
衆議院
臨時國庫證券法案外三件

(臨時國庫證券收入金特別會計法案)
(臨時國庫證券收入金特別會計法案)
(臨時國庫證券收入金特別會計法案)
(臨時國庫證券收入金特別會計法案)

委員會會議錄(速記)第三回

會議

大正六年七月二日午後一時五十五分開議

出席委員左ノ如シ

江藤 哲藏君 諏訪部庄左衛門君

上野 松次郎君 粕谷 義三君

瀧 正雄君 早速 整爾君

町田 忠治君 森本 一郎君

出席國務大臣左ノ如シ

大藏大臣 勝田 主計君

出席政府委員左ノ如シ

大藏省理財局長 神野勝之助君

大藏書記官 關場 偵次君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

臨時國庫證券法案

臨時國庫證券收入金特別會計法案

日本興業銀行法中改正法律案

○委員長(江藤哲藏君) ソレデハ開會致シマス、前回ノ續テ臨時國庫證券法案ト臨時國庫證券收入金特別會計法案、之ニ就テノ質問ヲ繼續致シマスカラドウ御質問ヲ……

○成田榮信君 本案ノ證券ハ、日本銀行ノ見返品同様ナル御取扱ニナル御見込デアリマスカ、政府ノ御意見ヲ承デ置キタイ

○國務大臣(勝田主計君) 矢張是ハ國債デ御坐イマスノデ、日本銀行ノ見返品トシテハ融通ノ利クコトニナリマス次第デアリマス——一寸此場合ニ申シテ置キマスルガ、此三案ニ就キマシテ私特ニ出テ説明ヲ致スベキノ所、御承知ノ通り外ノ方カ忙シウ御坐イマシテ出席ヲ能ウ致シマセナシカ、ドウカ若シ政府委員等ニ於テ述ベテ居リマスコトデ不明瞭ナヤウナ點ガ御坐イマシタラ、御遠慮ナク御尋ヲ下サイマス、私ノ出來得ルダケノ説明ヲ致シマス

○委員長(江藤哲藏君) 一寸私カラ御伺ヒ致シマスガ、先回政府委員ノ御説明ノ趣意ヲ申シマスレバ、此臨時國庫證券ノ發行ハ軍需品代金ノ決濟ト云フコトニ就テハ、主トシテ民間ノ銀行團ノ力ヲ待ツ、併シ必要ノ場合ニ於テハ之ヲ適用スル其外ニ於テハ輸出爲替資金ノ疏通ヲ圖ルメデアアル、其御趣意ハ此運用ニ就テハ重キヲ輸出爲替資金ノ疏通ト云フコトニ置イテ居ラレヤウニ聽取ツタデアリマスガ、サウ解釋シテ居ッテ差支ナイモノデアリマセウカ

○國務大臣(勝田主計君) 政府委員ガ如何申シタカハ知レマセヌガ、注文ガ爲替ノコトヲ先キニ書キ、後ニ此軍需品資金ノ調達ノコトヲ書イテ居リマスカラ、或ハ其順序

デ説明ヲ致シマシタカトモ想像致シマス、併ナガラ是ハヤッテ見マセヌト云フト、ドチラガ多クナルカト云フコトハ分リマセヌガ、兎ニ角兩方トモ實ハ差迫ッテ居ル問題デアリマシテ、御承知ノ通り此軍需品ノ製造代金ニ致シマシテモ、露國ノ如キハ既ニ七八千萬圓ノモ

ノヲ我國ニ於テ調達ヲ致シテ居リマシテ、是ガ代金ガ滯ッテ居ルヤウナ狀況モアリマスルシ、斯ノ如キ場合ニ民間ニ於テ之ヲ從來ノ如クニ調達致シマスルト云フコトハ、實際ニ於テ之ヲ全部説明サセラレト云フコトハ甚ダ困難デアリマス、ソレデ矢張り法律ノ働キト云フモノヲ要スルト云フコトニナッテ居リマス、又其他佛蘭西デアリマスルカ、英吉利デアリマスルカ、軍需品ノ注文ト云フモノガアリマスルカ、此等ニ對シテモ彼ノ國ノ財政狀況カラ致シマシテ、其代金ハ我國ニ於テ之ヲ調達シテヤルト云フコトヲ非常ニ希望致シテ居リマスルコトモアリマスルシ、又近クハ露國ノ國庫證券ヲ借換ヘナドガ來マスノデ、斯ヤウナ場合ニ於キマシテモ是ハ民間デアリマシタモノデ御坐イマスカラ、成ベク民間ニ於テ之ヲ借換ヘルト云フコトハ盡力致シテ居ルデアリマス、若シ力ニ餘ッテ出來ヌト云フ場合ニ於テハ法律ガ此働キヲスルノデ、差當リ軍需品ノ代金ト云フ方ノ側ノ事ガ、是ガ大キナ働キヲ致シマセヌカト事實ニ於テ考ヘテ居リマス、ソレカラ輸出爲替ノコトニ就キマシテハ、是モ今日ハ大分差迫ッテ居ルコトデアリマスガ、兎ニ角之モ民間ニ於キマシテ殊ニ爲替銀行ガ非常ニ盡力シテ居リマスルシ、又政府ノ國庫預金部等デ此等ヲ調節致シテ居ルト云フコトモ御坐イマスルカラシテ、今日ハ先ヅ相當ニヤッテ居リマスルガ、何ノ時カ矢張此等ノ必要ガ近ク起ッテ來ハセヌカト斯様ニ考ヘテ居リマス、孰レガ詰リ金額ニ就テ大キクナルカト云フコトハ今日ヨリ豫想スルコトハ出來マセヌガ、先ヅ差迫ッテ物カラ考ヘルト云フト、軍需品ノ代金調達ト云フコトガ、是ガ主ニナルト云フコトヲ考ヘテ居ル次第デアリマス

○委員長(江藤哲藏君) 此證券ノ發行ガ、最高限ニ二億圓ニ御積リニナツタニ就テハ、是ハ何カ根據ヲ有セラル、ノデアリマスカ、其點ヲ一ツ伺ヒマス

○國務大臣(勝田主計君) 二億圓ト定メマシタノハ是ハエライ根據ト云フコトハ御坐イマセヌノデ、先ヅ餘リ之ヲ多クシマスルト云フト、唯其聲バカリデ一般ノ市場ヲ驚カスト云フコトデアリマスカラ致シマスルカラシテ、極メテ多クナク又少ナイ程度ニ定メルコトガ宜カラウ、ソレニハ現在ノ日本ノ市場ノ狀況等ヲ考ヘテ見マシテモ、二億圓ノ程度デアレバ恰度宜イコトデハナイカ、若シ萬一之ヲヤッテ行キマシテ、市場ガ極メテ順況デアリマシテ二億ト云フ標準ガ出來マス、又尙ホ軍需品ノ調節ヲ要スル、或ハ爲替ノ調節ヲ要スルコトガアリマスレバ尙ホ議會ノ協賛ヲ經テ金額ヲ増スト云フコトモ出來マスカラ、此程度ニ止メテ置ク、是ハ殆ド直覺ノ金額デアリマスシテ、別段何モ斯ウスルトカ、斯ウ云フ計算カラ斯ウナツタト云フコトハアリマセヌノデアリマス

○委員長(江藤哲藏君) 此證券ノ割引歩合ト云フモノハ、大藏大臣ニ於テ適宜ニ定メルモノデアルカドウデアルカ、第三項ノ大藏證券ノ——之ヲ見タラ分ルカモ知レマセヌガ、一寸其點ヲ伺ヒマス

○國務大臣(勝田主計君) 御問ヒノ如クニ割引歩合トハ使用ノ狀況等ニ依ルコトデアリマスカラ、是決定メテ積リテアリマス

○委員長(江藤哲藏君) 特別會計法案ノ第七條ニ國債整理基金ハ特別會計ニ繰入ルベシ、即チ此會計法案ニ 國債資金特別會計法追加豫算ヲ御出シニナッテ居ルト云フコトハ、ソレヲ見マスレバ其關係ヲ見テ分リマスガ、一寸便利ノ爲ニ御説明ヲ願ヒマス

○國務大臣(勝田主計君) 此計畫ハ御話ノ如クニ追加豫算ノ特別會計ノ第三號ト云フノ提出シテ御坐イマス、ソレニ依リマスト 國債ノ國債資金ノ繰入デアリマストカ、或ハ國債ノ償還デアリマストカ云フヤウナコトハ、皆整理基金ハ特別會計ニ繰入レルコトニナッテ居リマストノデ、一面ニ國債整理基金ノ會計ヲ致シマシテ、三億五千萬圓位ノ豫算ガ出テ居リマス、三億五千萬圓ト云フ元ノ二億ニ三億ヲ加ヘレバ凡ソ臨時國庫證券ヲ補充シマスルニ就キマシテ、豫想デ——是ハ必シモ豫想ノ通りニ參リマセヌカ否カ、兎ニ角豫想ガナケレバイカスカラ其豫算ヲ設ケテ、其豫想ニ依リマスト極メテ短期ナルモノ、三箇月ト云フヤウナモノヲ割引ノ法ニ依テ先ヅ五千萬圓位發行スルト云フコト、斯ウ云フコトニナリマストノデ、其間ニ借換ガ展起リマスガ、斯ウ云フ關係カラ、國債整理基金ト云フ關係カラ今ノ額ハ即チ五千萬圓ヲ七回發行シタト云フコトニナッテ居リマスガ、元ハ發行シタ最高一億圓ト云フコトハ茲ニモウ動カヌコトニナッテ居リマス、此分ハ確カナルコトヲ申シマスレバ追加豫算ノ方ノ數字ヲ御覽ニナレバ能ク御了解下サルコト、思ヒマスガ、此處ニ持合セガアリマセヌカラ略シマス

○委員長(江藤哲藏君) 別段之ニ就テ御質問ハアリマセヌカ

○龍正雄君 一寸私ハ前會ノ此委員會ニ於テ次官ニ御尋ラシタ時ニハ、何處ニ——大審院ニ一寸關係ヲ御知ラセスル爲ニ申シマスト、斯ウ云ッテ御尋シテ今度ノ一億圓ト云フモノヲ制限シテサウシテ募債セラレヤウデアリマスガ、恰度其時ニ戴イタ軍需品賣却高ト云フ表ガ御坐イマシタガ、之ヲ見ルト政府ヲ引受ケテ居ル方面ノ政府關係ノ未濟ノ高ガ七千萬圓、民間ノ方ハ一億三千万圓餘ト云フモノガ既ニアッテ、合計二億二千万圓餘ト云フ未決濟ノ高ガアル、ソレニ加フルニ又爲替資金ノ方面ニモ使用スルト云フコトデアルカラ、僅ニ一億圓位デハ殆ド役ヲ爲サヌト云ッテハ餘リ極端カモ知レマセヌガ、餘リ大シタ效果ガナイデハナイカ、自分ガ平生考ヘテ居ル所デハ、露國ダケノ軍需品ニ對シテ二億圓位、少クトモ募債モ宜イ、平生私自身ノ考ヘテス、民間ノ誤解ヲ招クト云フ眞ガアルカラト云フ説明ヲ次官ハサレマシタ、ソレハ當局者トシテハ或ハサウカモ知レマセヌ、私ハ同情シマス——私ハ同情シマスガ、實際今ノ時局カラ考ヘテ見マスレバ、ドウシテモ露國ノ軍需品ナドヲ引受ケルナド、云フコトハ、我國ノ生産業ヲ發達セシムル上ニ於テ非常ニ必要デアッテ出來ルダケドシノ、ヤッタ方ガ實際ハ宜イノデ、私ハ確ニサウ確信シマスカラ、少シ大袈裟ニ募テハドウカト云フコトヲ質問シタノデアリマス、其時次官ハ根本ノ方針トシテハ民間カラ募集シタイト思フ、勿論此中デモ既ニ成立シテ居ル所ノ契約カラ出タ所ノ未決濟ト、斯ウ云フ額ニ向ッテ今得タ所ノ資金ヲ拂フト云フ譯デハナイカラ、未決濟ノ部分デモ其儘ニ殘シテ置ク、新タニ起ッテ來ル註文ニ對シテモ應ズル積リデアルシ、又一方ニ於テハ民間ノ所謂露西亞ノ大藏證券ニ應ズル、斯ウ云フ方法

ヲ主トシテ採ルノデアアル、斯ウ云フ辯明デアッタ然ルニ今大藏大臣ノ御話ヲ聞キマスト、私ガ今迄考ヘテ居ッタ通りニ實際民間ノ募債ト云フコトハ困難デアアル、民間ガ露西亞ノ大藏證券ニ向ッテ、投資スルコトハサウ急ノ問ニ合ハヌノミナラズ、中ニ成立ガ困難デアルト云フ次官ノ話ト大臣ノ話トノ間ニ多少私ハ懸隔ガアルヤウニ考ヘマス、何レガ本當デアルカ、政府ノ眞意ハ何處ニアルカ、吾々及國民ヲ一時誤魔化シテ此處ヲ通り過ギルト云フヤウナ御考ハアリマスマイケレドモ、何方ガ本當デアルカ、本當ニ此際國ノ生産業ヲ發達セシムルト云フ考カラヤレバ、私ハマダズト此額ハ殖ヤシタノガ適當ト考ヘル、此點ニ付テ政府ノ眞意ガ何處ニアルカト云フコトヲ、多少重複シマスガ、折返シテモウ一度承ッテ置キタイト思ヒマス

○國務大臣(勝田主計君) 問題ハ二點ニ分レルヤウデアリマスガ、先ヅ第一ハ御質問者ノ御趣意カラ言ヘバ、之ヲモウ少シ巨額ニ規定シテ置イタラドウカト云フコトデアリマスガ、其事ニ付キマシテハ、一寸前回ニモ申シタノデアリマスガ、之ヲ民間ヲ募ルモノハ無論民間デアリマスガ、民間デ出來ナイモノハ矢張政府デ手傳ッテヤル、官民共同シテヤルト云フ精神デアリマス、左様ナ部類モアリマス、又註文ヲ致シマシテモ、英吉利トカ佛蘭西トカハ全部其代金ノ立替ヲ要求モシマイト思フ、或部分ハ現金ヲ拂ヒ、或ハ部分ハ立替ヘテ貰ヒタイト云フヤウナコトモアリマセウ、ソレカラ又先刻申上ゲタ通り若シ是デヤッテ見テ尙ホ必要ヲ生シタ場合ニハ、他日諸君ノ御協賛ヲ經テ此金額ヲ上セルト云フコトモ出來ルノデアリマスカラ、詰リ此金額ヲ餘リニ過大ニセズ、二億圓ト云フコトニ限定致シテ置キマシタ、ソレカラ前回ニ次官ガ何ト説明シマシタカ知リマセヌガ、要スルニ次官ノ説明致シマシタノモ唯政府許リテ之ヲヤル趣旨デハナイ、民間デ出來ルモノヲ無理ニ政府ガ公債ヲ發行シテ調達シテヤルト云フ趣意デナイ、民間デ出來ルモノハ民間デヤル、民間デ出來ヌ即チ御例示ニナリマシタ露西亞ノ證券ノ如キハ、今日民間ニ於テハ難事デアリマス、全ク應募者ガ無イト云フコトハアリマセヌガ、巨額ノ露西亞ノ大藏證券ヲ民間ニ於テ發行シテ成功ヲ見ルトハ甚ダ難イノデアリマスカラ、左様ナ場合ニハ或ハ民間ノ共同、或ハ政府ガ單獨ニ之ヲヤルト云フコトヲ進ンデ行キタイ、斯様ナ精神ニ外ナラヌノデ、多少言葉遣等ニ依リマシテ私ノ申スコト、前回次官ノ申スコトガ違ッダヤウニ御聞キカモ知レマセヌガ、其根本ノ趣旨ニ於テハ右ノ如キ趣旨デ御坐イマシテ、決シテ是アルガ爲ニ民間ニ募債シナイ、又民間ヲ主トシテ此方ハ成ルダケヤラヌト云フヤウナ趣旨デモナイノデアリマシテ、其點ハ詰リ資金ヲ調達致ス所ノ狀態ニ順應シタル適當ナル方法手段ヲ採ッテ其效果ヲ擧ゲタイト考ヘテ居リマス次第デアリマスカラ、ドウカ左様御承知ヲ願ヒマス

○龍正雄君 今ノ御話デモ分リマスガ、軍需品ノ決濟トシテ急中ノ急ナルモノハ矢張露西亞カラ來ル所ノ軍需品ノ註文ヲラウト考ヘマス、然ルニ大藏大臣ノ今言ハレヤウニ、一番急ナノハ軍需品ノ決濟資金ノ問題デアラウト云フ御言葉ガアッダ、私ノ考デハ軍需品ノ註文ノ中デモ露西亞カラ來ルモノガ一番差迫ッテ急デアラウト思フ、額モ大キイデアラウト思フ、此物ニ付テハ民間ニ於テハ殆ド大藏證券ヲ募ル見込ハナイラシイ、其點カラ考ヘテ見ルトドウモ此法律案ニ依ッテ生ズル所ノ臨時國庫證券ニ依ッテ得タ資金デ以テ、此方面ヲ行カナケレバナラヌ、斯ウ云フ結論ニナリマス、サウスト私ガ平

生考ヘテ居ル所ニ照シ合セテ見テモ、早晩是デハ足ラヌト云フ事實が起ッテ來ルニ相違
ナイト想像シマスガ、其場合ニハ主トシテ民間テ募集積リテアルカラ、或ハ其方面デモ出
來ルダケ應ジテ行クカラト云フ御言葉デハ、本當ノ説明ニテ居ラヌト思ヒマス、追テ又二
億以上ノ斯ウ云フ法律案ヲ提出スル積リテアルト云フ御考カ、或ハマサウ言フテ置イテ
先ハドウナルヤラ分ラヌト云フ御考デスカ、私ノ目カラ見レバ眞面目ニ國家ノ生産事業
ヲ助勢シテ行カウ、此際軍需品ヲシテ引受ケテ、露西亞ノ費用ヲ以テ日本ノ産業
ヲ發達セシムルト云フ巧妙ナル策ヲ採ラナラバ、又餘程是ハ盛ニセナケレバナラヌト思ヒマス
ガ、其點ハ目ノ前ニ現ハレテ來ルヤウニ私ハ考ヘマスガ、大藏大臣ハ如何ニ御考ニナリマ
スカ、モウ一應伺フテ置キタイト思ヒマス

○國務大臣(勝田主計君) 苟モ政府ガ或法律ヲ議會ニ提出シテ、諸君ノ御協賛ヲ
得ルト云フ點ニ付キマシテ、決シテ曖昧模稜タルコトハ御坐イマセヌ、自ラ其主義精神ト
云フモノガ之ニアリマスコトハ、既ニ申述ベタ所カラ御了承ヲ願ヒタイノデアリマスガ、要
スルニ是ガ公債ノ募集デアリマスカラ、民間ヲ相手ニシテヤラナケレバナラヌ、ソレデ餘リニ
當初カラ金額ヲ大キク致シテ、之ヲ四億トカ五億トカト云フコトハ容易イノデアリマスガ、
果シテ左様ナモノガ此市場ニ於テ募集出來ルヤ否ヤト云フコトハ相手ノアルモノデアリマ
スカ、サウ妄斷的ニ極メテ行キマセヌノデ、先ヅ先刻來申シマシタヤウナ精神ニ依ッ
テ、二億ト云フ計畫ヲ立テ、是デヤッテ見テマダ、是デハイカス、軍需品ニ付テモモ
ト金ガ要ル、爲替調節モ亦金ガ要ルト云フヤウナコトデアリマシテ、市場ニ於テ狀況ガ之
ヲ許スコトデアリマスレバ之ヲ増額シテヤル外仕方ナイ、若シ右ノ如キヤウナ狀況デ市場
ガ許スコト云フナラバ是以外ノ他ノ方法ヲ採ラナケレバナラヌデアリマス、政府ニ於テキマ
シテハ此軍需品ノ注文ヲ受ケテ、サウシテ我が國ノ工業ノ利益ノ發達ヲ期待スルト云フ
コトハ是ハ勿論ノコトデアリマシテ、其主義ガ大ニ籠ッテ居リマス、爲替ノ調節ヲシテ一般
ノ商業貿易ニ資スル、是ハ變ラヌ、商業精神ガ此中ニ籠ッテ居ルデアリマス、此點ハ宜
ク御承知ヲ願ヒマス

○委員長(江藤哲藏君) モウ別段御質問ハアリマセヌカ、御諮リヲ致シマスガ、戰時
保險法案ノ方ニ移リマスカ、ソレトモ興業銀行法中改正法律案ニ移リマスカ、是ハ諸
君ノ御希望ニ依テ……

○成田榮信君 大臣ノ居ラレル中ニ興業銀行ノ方ヲ吾モモ質問シタイト思ヒマスカラ、
成ベク其方……

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(江藤哲藏君) ソレデハ日本興業銀行法中改正法律案ニ移リマスガ、先
ヅ大藏大臣ニ詳細ノ御説明ヲ願フタ方ガ便利ト思ヒマス……

○國務大臣(勝田主計君) ソレデハ法案ノ改正ノ要領ヲ説明致シマス、説明致シマ
スルニ當リマシテ先ヅ要點ヲ摘ミマシテ、第一ノ要點ハ御承知ノ通りニ朝野ノ間ニ工業
金融ト云フモノガ滑カデナイ、ソレデ工業金融ト云フモノノ滑カニスル必要ガアルト云フ
論ガ起リマシテ、御承知ノ通り經濟調査會ニ於テハ數箇月ヲ要シテ色々ナコトヲ調査致
シマシテ、大藏省ヨリモ無論參考ニ局長ガ出マシテ色々意見ヲ交換シタイノデアリマスガ、
是ニ對シマシテハ種々ナル方法ガアリマス、先ヅ第一點トシテハ興業銀行ト申シマスルモ

ノハ是迄會社ノ株式引受トカ、或ハ應募ヲ爲スト云フヤウナコトガ詰リ受方ニアリマセ
ナンバ、是ハ興業銀行ヲシテ斯様ナコトヲヤラシメルト云フコトハ、或ハ株式ノ賣買ノ投
機デモヤッテ、其銀行ノ基礎ニ不安ヲ與ヘルト云フコトガアリハシナイカト云フヤウナ、將
來ノ心配カラ致シマシテ、サウ云フヤウナ規定ハアリマセナンバ、併ナガラ今日ノ狀況ト致
シマシテハ苟モ工業ヲ盛ニスルト云フ以上ハ、會社ノ株式ノ引受トカ、或ハ應募ト云フ
モノハ政府直接ノ監督ノ下ニアル補助ヲ受ケテ居ル所ノ興業銀行ナラバ、專ラ是ハヤッテ
ヤラナケレバナラヌコトデアラウト云フコトカラ致シマシテ、經濟調査會ノ如キモ大體是ニ
同意ヲ致シ、政府ニ於テモ是位ノ道ヲ開ケルト云フコトハ必要デアラウト云フノデ、詰リ
是等ノ便宜ヲ興業銀行法ノ上ニ於テ認メマシタノデアリマス、是ガ第一點デアリマス、ソ
レカラ第二點ハ御承知ノ通り、政府ハ今回下層ノ商工業金融機關ヲ便宜ニ致シマス
ル爲ニ、産業組合法ノ改正ヲ致シマシタノデ其産業組合法ノ改正ノ中ニ、都市ニ於ケ
ル所ノ信用組合ノ發展ヲ催ス如キ所ノ規定ヲ設ケマシタ、是ハ御承知ノ通り多年伊太
利ニ於ケル所ノ所謂庶民銀行、庶民銀行ノ制度ヲ日本ニ利用シテ相當ノ改善ヲ加ヘ
テヤレバ、都市ニ於ケル商工業者ハ非常ナル便宜ヲ受ケルコトデアラウト云フ論ガアリ
マシテ、政府ハ先年庶民銀行法案ヲ私カニ作リマシテ、種々研究ヲ致シマシタガ、結
局ハ庶民銀行法ト云フモノヲ變ヘテ見マス、産業組合ニ於ケル信用組合ノ規定
ノ法律全部ヲ網羅シナケレバナラヌヤウナモノガ出來テ來マスノデ、一層産業組合法
ニ改正ヲ加ヘタ方ガ宜クハナイカト云フノデ、庶民銀行ノ意味ヲ産業組合法ニ詰リ
規定ヲ致シマシテ、即チ都市ニ於ケル信用組合ノ發達ヲ期スルト云フ趣旨ヲ規定
致シマシタ、ソレニ付キマシテ興業銀行ノ如キハ矢張り工業發展ト云フ大ナル使命ヲ
有ッテ居リマスカラシテ、此信用組合ト連絡ヲ保ッテ金融ヲ致シテヤルト云フコトガ必
要デアリマスカラ、其道ヲ詰リ置キマシタノガ、是ガ第二點デアリマス、第二點ハ海
運ニ關係ヲ致シマス、即チ船舶ノ金融デアリマスノデ、此船舶金融ノ問題ト云フモ
ノハ御承知ノ通り多年ノ問題デ、又經濟調査會邊デモ中々研究サレマシタ問題デ
アリマス、此船舶金融ニ付キマシテハ船舶金融ヲ必要トスルト云フコトハ、殆ド朝野ニ
於テ異論ノナイ事デアリマシテ、唯如何ナル方法ヲ取ッテ船舶金融ヲスルカト云フコ
トニ付テハ、種々議論ガアリマスノデ、其議論ノ要點ハ船舶金融ヲヤラナラバ、之ヲ特設
銀行ニシナケレバナラヌト云フ一ツデアリマス、モウ一ツハ船舶ニ金融ヲ與ヘルコトノ便利
ナル特殊銀行ノ如キモノヲ改善シテ、之ヲ以テ資金ヲ供給セシメルト云フノガ第二デアリ
マス、第二ニハサウ云フモノモ要ラヌ、是ハ保險會社トカ或ハ普通銀行等ガ自身ニヤル
コトデアルカラシテ、ソレ等ニ委シテ置イタラ宜イト云フヤウナ議論、色々議論ガアリマ
スノデ、是等ノ議論ニ付テ、大ニ政府ニ於テモ研究ヲ致シマシタ結果、之ヲ特殊銀行ニ
スルト云フコトニ付テハドウモ餘リ面白クナイデハナイカ、何トナレバ特殊銀行ト致シマ
シテ、將來法律ノ如キ形ヲ以テ各方面カラ出テ居リマス所ノモノヲ見マシテモ、一面ニ於
キマシテ船舶金融ト云フモノヲシ、他面ニ於テ普通銀行ノ業務ヲ執リ、政府ガ或ハ五
分六分ノ利子ヲ十年間モ補助スルトカ、又ハソレガ發行スル所ノ債券ニ政府ガ補助ヲ
與ヘルトカ云フコトガ、大體骨子ニナッテ居ルデアリマスガ、斯様ナ特殊銀行ト云フモノ
ハ果シテ成立シ得ルヤ否ヤト云フコトガ餘程問題デアリマスガ、或一部ノ人士ノ間ニハ

戰時ニ於ケル我國ノ船舶金融ト云フモノヲ完全ニスルニハ、ドウシテモ斯様ナモノデヤッテ行カケレバナラナイト云フコトガアリマスガ、政府ノ見解ト致シマシテハ、斯ノ如キ假ニ銀行ガ出來タト致シマシテモ、信用ノ確實ナル者ハ保險會社ナリ、或ハ普通銀行ナリト云フモノガ依然トシテヤルト云フコトニナッテ居リマスシ、サウシテ此等ノ銀行ニ行ク者ガ若シ普及スル場合ニナルト、極メテ信用ノナイ所ノ者ガ行クト云フコトニナリマシテ、中々計算ト云フモノハ取レマセズデヤナイカ、而巳ナラズ一面ニ普通銀行ノ業務ヲ計營スルト云フコトニナルト、左様ナ現在ノ銀行ノ如キ狀態ニナリマスレバ、主トシテ普通ノ銀行ノ業務ヲ執ルコト、ナッテ、詰リ政府ガ保護ヲシテ他ノ普通銀行ト競争セシムルト云フ結果ヲ生ズル、左様ナコトハ面白クナイ、ソレデ外國ニ於キマシテハ段々事例ヲ徵シテ見マスト、船舶ニ對シテ特ニ特殊ノ機關ヲ設ケタト云フヤウナコトハ、殆ド無イト言ッテ宜イ、彼ノ獨逸ノ如キ交通トカ、或ハ貿易ニ於テハ有ル手段方法ヲ執ッテ居ル處デモ左様ナコトハ致シテ居ラヌ、ソレデ若シ船舶金融ト云フコトガドウシテモ必要デ、何カ融通ヲ致シテ行カケレバナラヌト云フヤウナ結論ニナッテ來マスレバ、矢張既設ノ特殊機關ヲ利用シタイ、由來此特殊機關ノ利用ト云フコトニナルト、ドノ銀行ガ一番ノニ適應シタ銀行デアルカト云ヘバ、我日本興業銀行ガ之ニ最モ適應シタ銀行デアリマスノデ、此銀行ヲシテ船舶金融ト云フコトヲヤラセル、斯様ナ大體ノ決定ヲ致シマシタ、此銀行ヲシテ船舶金融ト云フコトヲ爲サシムルニ付キマシテハ、第一資本ノ増加ヲ致サナケレバナリマヌノデ、今日ハ千七百五十萬圓ノ拂込濟ノ銀行デアリマスガ、千二百五十萬圓ヲ之ニ増加シテ、二千萬圓ト云フコトニ致シマシテ、先ヅ第一ニ銀行ノ基礎ヲ固メ、ソレカラ重役等ニ付キマシテモ船舶ノ金融ト云フコトハ自カラ特殊ノ技能ヲ要スルト云フコトデ、從來理事三名以上トアリマシタガ、理事六名以上ト云フコトニ致シマス、船舶ノ實際ノ上ノ堪能ナル者ヲ之ニ入レマシテ、サウシテ船舶ノ金融ト云フモノヲ遺憾ナカラシムルト云フ方法ヲ執ル、斯様ナ事ニ大體致シマシタ、船舶等ノ金融ノ項目ニ付キマシテハ條文ニ書イテアリマスカラ、御覽ノ通りデアリマスガ、之デヤッテ行ケバ大體船舶ノ金融ト云フモノハ出來ハシナイカ、サウシテ興業銀行ヲシテ船舶金融ヲ實行セシメマシテ、是ガ年所ヲ經マシテ其成績ガ立派ニ擧ガリ、特別ノ之ヲ銀行トシテモ成立チ得ルモノト云フヤウナ茲ニ成算ガ出テ來マシタラバ、他日之ヲ船舶金融ニ非常ナル資金ヲ要スルト云フコトガ出來タ場合ニハ、此場合ニ特設機關トシテモ宜イ、今日之ヲ特設機關トスル必要ガナイト云フコトカラ、詰リ興業銀行ヲシテヤラセル、斯様ナ仕事ヲサセルニ付キマシテハ御承知ノ通りノ業體デアリマスカラ、何等ノ補助ヲ興業銀行ニ與ヘナイト云フコトハ是ハ無理ナ話デアッテ、現ニ船舶ノ特殊銀行ヲ設ケルト云フ其案ニ依リマシテモ、或ハ債券ヲ補助シ、或ハ配當ヲ補充スルト云フコトヲ何レモヤッテ居リマスノデ、此興業銀行ニ對シテ債券ノ方ハ御承知ノ通りニ、十分發行スルダケノ權能ヲ有ッテ居リマスカラ、此點ニ付テハ別段ノ特典ハ與ヘマセヌガ、配當ノ場合ニ於テ其配當ガ詰リ七分マデハ二十萬圓ト云フモノデ五箇年間補助ヲ與ヘル、斯ウ云フヤウナ規定ヲ致シタ、又規定等モ通俗ニ特殊船舶金融機關ト稱ヘラレテ世間ニ論ゼラレテ居ル補助ヨリモ少クナッテ居ル、是レ位ノ補助ハ興業銀行ニヤリマセヌデハ、業務事態ガ餘程困難ナ事態デアリマスルカラシテ、到底其職責ヲ盡スコトガ出來ヌト云フ考カラ致シマシテ、斯様ナ特典ヲ許シタ次

第デアリマス、ソレデ此法案ガ詰リ通過致シマスレバ、興業銀行ノ當事者ヲ能ク政府ハ監督鞭撻シテ、成ルベク此要旨ノ徹底スルト云フコトニ要スルニ努力致シヤウナ考ヲ以テ居ル積リデアル、是ガ先ヅ興業銀行法ノ改正ノ大體ノ要點ヲ御坐イマス、尙御尋ガ御坐イマスレバ御尋ニ依リマシテ御説明致シマス

○町田忠治君 私ハ一ツ大體ノ御尋ヲ致シテ置キタイと思ヒマス、此興業資金ノ供給ヲ裕カニスル機關ガ欲シイト云フコトハ、朝野皆希望スル所デアリマス、吾々ノ内閣モ之ニ向ッテ十分考慮サレテアッタコト、承知致シテ居リマス、尙ホ私個人トシテハ經濟調查會委員ノ一人トシテ、専ラ農商務所謂實業側ノ方面カラ會ア主張モ致シテ居ル、經濟調查會ノ重大ナル問題トナリマシタ事ニ付テハ、私モ始終出席致シテ居リマシタ、不幸ニシテ此案ノ出來マシル際ハ私ハ委員デアリマセヌカラ承知致シマセヌガ、大體ニ於テハ此様ニ出來ルコト、想像致シテ居リマシタ、當時經濟調查會ノ總會ニ於テ、時ノ大藏當局ニ私ガ質問シタガ、遂ニ其質問ガ今日ニ至ルマデ受ケテ居リマセヌ、申スマデモナク是ハ黨派ノ問題デモ何デモアリマセヌ、私ノ立場ガ今日デアルト云フヤウナ政黨政派ノ問題デアリト云フコトハ申スマデモナイデアリマス、此處ニ御列席ノ政府委員中ニモ私ノ最モ興業資金ニ對シテハ研究シタイ希望ヲ有ッテ居ル一人ト云フコトハ御承知ノ筈ダト思ヒマスガ、私ノ最モ此興業銀行改正案ヲ十分實效アラシメ、日本ノ興業資金ヲ裕カナラシムルニ付テハ、最モ必要ナルハ日本銀行、興業銀行、勸業銀行ト日本ノ二特別銀行ト申シマセウガ、此關係デアリマス、是ガ興業銀行ナドニ於テモ屢々變化サレテ、私ノ見ル所又吾々ノ希望スル所トハ種々相違致シテ居ル、政府ハ此興業銀行ト云フモノヲシテ、今後愈々動產銀行ト云フ本體ニ立戻ラシムル御方針デアルカ、又此興業銀行ヲシテ果シテ此法案ノ如ク十分ナル活動ヲサセルニハ日本銀行條例ヲ改正スルカ、若クハ勸業銀行ト興業銀行トノ關係ヲ明カニシナイト、事實ニ於テハイケンイト思フ、殊ニ興業銀行ハ一方ニ斯様ナ改正ヲシテ、大藏大臣ノ唯今ノ御説明ノ中ニモ私ハ遺憾ガアル、世人ト同様ニ大藏大臣モ此間ノ御考ガ極ッテ居ラヌヤウニ考ヘル、興業銀行ハ工業ノ發達ニ要スル資金ヲ供給スルノガト仰シヤル、吾々ニハサウハ思ハナイ、興業銀行ハ工業ニ對スル固定スル資金ノ供給ヲスルノガト興業銀行ノ本體デアリナイト考ヘテ居ル、大藏大臣ハ固定スル工業資金ヲ供給スルノガト仰シヤル、然ラバ勸業銀行ハドウアルカ、獨リ農業ノミナラズ固定スベキ性質ノモノハ主ニ勸業銀行ニヤルデアリナイカ、出來得ルダケハ興業銀行ヲシテ固定セザル所ノ資金ヲ供給スルヤウニスル、是ハ一時ニハ出來ヌガ、段々進メテ之ヲ動產銀行ノ本體ニシタイト云フノガ吾々ノ希望又興業銀行ヲ造ッテ趣意ガ其處ニ在ル、大藏大臣ハ矢張り興業銀行ハ工業ノ固定資金ヲ供給スル、勸業銀行ハ農業ノ固定資金ヲ供給スルト仰シヤルガ、是ガ第一了解ノ出來ヌ點デアリマス、而シテ更ニ直接ニ此案ニ入ッテ見マスルト、從來興業銀行ノ業務ノ中ニハ第一ニ於テ國債債券社債株券ヲ質トスルト云フノガ本體ニナッテ居ル、更ニ此度ハ應募引受買入ト云フ事ヲ入レタ、私ハ是ガ最モ今日ノ時勢ニ適當ナ改正ダト信ジマス、ソレト同時ニ此非常ニ大ナル仕事ヲシテ非常ナル資金ヲ要スル此改正ヲサル、ト同時ニ、一方ニ船舶抵當ノ仕事ヲサセル、船舶抵當ノ仕事ハ興業銀行ガヤルベキ問題ダト思フ、大藏大臣ガ最モ適當ナルハ興業銀行デアルト仰シヤッタ、私ハ最モ適當ナルハ興業銀行ダトハ思ハ

ス、若シ日本銀行、勸業銀行、及興業銀行ト云フ政府ノ特別ナル保護ヲ受ケテ居ル銀行ニ於テ、船舶ニ對シテ資本ヲ供給スル必要アリトスレバ、不適當ナ度合ガ少イノハ興業銀行ト云フノハ宜イガ、興業銀行ガ最も適當ナル機關トハ思ハヌ、不適當デハアルガ日本銀行勸業銀行ニヤラセヨリモ、興業銀行ニヤラセヨリノ比較的不適當ノ度合ガ少イト仰シタルナラバ宜イ、今迄興業銀行ノ性質カラ見テ私ハ斯様ナ感想ヲ持ッテ居リマス、次ニ興業銀行ノ船舶ニ向ッテノ貸方ハ如何ナル方法ニ依ルカト云フ問題ニ對シテハ、細カナ問題ハ澤山アリマセウガ、是ハ強テ大藏大臣ヲ煩サナクモ復タ御尋スル機會ガアラウト思ヒマスガ、今御話ノヤウニ資本金ヲ三千万圓ニ増スト云フノハ、船舶資金ノ爲ニ増ス、斯ウ云フ御説明ノヤウニ承ッテ、而シテ此條例中ニハアリマセウガ、豫算以外ノ箇條デアリマスガ、大藏大臣ガ此法案ヲ提出サル、ニ付テハ必ズ御説明ガアルコトト思ッテ居ッテ、主ナル箇條ハ確カ此資本ヲ増スト同時ニ、興業銀行ノ社債ヲズツト増サル、案ト思ヒマスガサウデアリマスガ、政府ハ保障ヲシテ社債ヲ發行スルト云フ箇條ガアツタヤウニ記憶シテ居リマスガ、左様デナカッタノデセウカ

○政府委員(森俊六郎君) 外債ヲ募集スル場合ニ元利ノ補助ヲ與ヘルト云フコトニナッテ居リマス、是ハ外債ヲ募ルト云フ豫想ノアル場合ニ於テ、豫算外國庫ノ負擔トシテアル積リデスガ、法文ノ中ニ入レルト云フ考ハアリマセウ

○町田忠治君 此法文ニハアリマセウガ、ソレガ主ナル箇條ト承知シテ居リマス、シテ見ルト資本金三十倍スル社債モ發行シ得ラレル、政府ハ興業銀行ガ外國ヲ募集スルトキニハ之ヲ保障スルト云フ案ガ通過スルヤ否ヤハ分ラヌガ、大藏當局ノ希望ハ此ニ在ル、此特權ヲ増シ主ナル理由ハ船舶ノ爲ト、斯ウ致シマスルトス様ニ心得テ宜シイカ、將來資本ガ増加スル、資本ノ増加ニ伴フ社債ニ屬スル特權ハ、總テ之ヲ船舶ノ資金トシテ使フ積リデアアルカ、船舶以外ニ之ヲ使ハヌト云フ御考デアアルカ私ハ大藏大臣カラ説明ヲ承ラナカッタガ、此危險ナ仕事ヲアルニハ政府ガ七朱ノ補償ヲスル、斯ウ云フヤウニ聽取リマスガ先ヅ第一私ノ御尋スル趣意ハ其處ニアリマスガ、御答辯ノ便宜ノためニ日本銀行ハ興業銀行ニ相當ナル資金ヲ貸出シテ、此條例以外ニ興業銀行ニ向ッテ、日本銀行ガ相當ナル資金ヲ貸出スト云フコトガ無ケレバ、殆ト是ハ空文デ事實行ハレヌト思ヒマスガ、更ニ根本ノ所デハ將來株券ノ擔保若クハ公債——公債ハ別ト致シマセウ、株券社債ノ如キ工業上最も必要ナル資金ノ供給ハ、將來日本銀行自ラ之ヲセズ、興業銀行ガ動産銀行タル當初ノ趣意ニ依ッテ政府ハ之ヲ興業銀行ニ任ス、即チ日本銀行ガ株券擔保デ金ヲ貸シテアル、見返品トシテアルト云フ制度ハ、全然興業銀行ニ移シテシマフト云フ御趣意デアアルカ、竝ニ私共ノ見テ當然勸業銀行ノ領分ニ屬スベキモノト思フ箇條ハ將來割ッテ、興業銀行ガ新タニ出タ業務ニ向ッテ、全力ヲ盡シテ、從來ノ工場擔保若クハ市街地ノ地面ニ對シテ金ヲ貸スト云フヤウナ、變則的ナ興業銀行ニスルト云フ考デ此案ガ出タカ、日本銀行、勸業銀行、興業銀行、此三ツノ銀行ノ各立場ニ於テ當局者ノ御方針ヲ承ッテ置キタイ

○國務大臣(勝田主計君) 御答ヲ致シマスガ、第一ニハ勸業銀行竝ニ興業銀行ノ性質論カラノヤウデアリマスガ、是ハ一寸申上ゲテ置クノハ興業銀行ト申スノハ大體ニ於テ御話ノ如クニ動産擔保ノ銀行デアアル、其動産擔保デ金ヲ貸スト云フコトハ、何ニ貸

スカト云ヘバ、主トシテ興業銀行ニ貸スト云フコトニナッテ居リマス、ソレデ唯併シソレバカリニ限ルカト申シマスレバ一面ニ動産擔保デ工業ニ金ヲ貸シマスルガ、此工業ト云フモノ、發展ニハ興業銀行其他ニ於テモ成ベク融通ヲ與ヘルト云フコトノ必要カラ、ソレデ例ヘバ興業銀行ガ市街地ニ對シテ貸出スルト云フヤウナ話モアリマスガ、是等モドウ云フコトデアアルカト申シマスレバ、矢張興業銀行ト云フ精神ニ反シテ市街地ニ貸付スルト云フコトデアリマスレバ、是ハ必ズ其得タ所ノ金ト云フモノハ工業ニ從事スル、工業ニ從事スル必要ノ上カラ市街地ヲ擔保シテ金ヲ借りル、其金ヲ借りルニ不動産擔保ガアル、ソレカラ又興業銀行ニハ工場財産ト云フ方ノ道モアリマスノデ、ソレ等ノ側カラ金ヲ詰リ融通スルト云フコトニナルト云フコトニナッテ居リマス、デ勸業銀行ハ是ハ御承知ノ通り農業許リテナイ、工業ニモ貸スガ主ナコトハ私が講釋スルマデモナイ、大體不動産ヲ擔保シテ金ヲ貸ス、其他ノ組合等ニ對シテ信用デ貸スト斯ウ云フコトニナッテ居リマス、ソレデ工業ト云フモノニ融通致シマスルニハ大體ノ區別ガ勸業銀行ト興業銀行ト云フモノガ附イテ居リマスガ、極ク細カイコトニナルト此所ニ多少交叉スル點ガ出來ル、事實ノ問題トシテハアリマスガ、ソレハドウモ實際ノ詰リ働キノ上ニ多少ノ交叉ガ起ルト云フコトデアリマスシテ、大體ガ詰リ銀行ノ性質ヲ傳ヘテ行キマスル所ノ制度ノ上ニ於テ大シタ不都合ノコトハナイ、斯様ニ政府ハ考ヘテ居リマス、ソレカラ又日本銀行ト關係デアリマスガ 日本銀行ト興業銀行、是等ノ關係ト云フモノハ御話ノ如クニ今日迄ノ所ハマダ十分ニ附イテ居リマセウ、併シ此改正ト云フモノハ相當ニ附ケテ行カナケレバナラヌト政府ハ考ヘテ居リマス、是ハ段々施設ヲ致シテ行キタイト考ヘマスガ、其根本ニナリマシテハ例ヘバ日本銀行ハ所謂見返リ品制度ヲ廢メテ、有價證券擔保貸ト云フコトヲスカリ廢メテ、興業銀行ト云フモノガ右様ノ性質デアアルカラ、全部ノ仕事ヲ讓ッテ仕舞フヤ否ヤト云フコトニナリマス、是ハ或ハ理想トシテハ左様ナコトガ宜イカモ知レヌガ、此興業銀行ノ投資ノ狀況ヲ考ヘマシテモ、或ハ左様ナ意味ガ含マレテ居ッテカモ知レヌガ、併ナガラ今日ノ如ク經濟界ガ發達致シマシテ、有價證券ノ如キモノハ無數ニアルト云フヤウナ場合ニ於テ、之ヲ一方ニ整理致シテ仕舞フト云フコトハ、是ヲ議論トシテハ出來ルガ、實際ニ於テハ中々出來ヌト思ヒマスカラシテ、尙ホ政府ノ方針ト致シマシテハ當分ノ中ハ無論日本銀行ハ有價證券ヲ見返リ品トシテ資金ヲ融通サスト云フコトモアリマスシ、又興業銀行トシテモ斯様ナ方面ニ向ッテモ出來ルカ力ヲ盡サセルト、今後其系統ノ上ニ於テハ錯綜スル所ガアルカ知レマセヌケレドモ、實際ノ經濟狀態ノ上ニ適應スル所ノ最もモハ單純ナ仕方デハナイカト斯様ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ御話ノ中ニ、私ノ説明ガ興業銀行ガ最も適當ナルモノデアルト云フコトニ付キマシテ御説ガアリマシタヤウデアリマスガ、ソレハ私モ同ジコトヲ言ッテ、特殊ノ銀行ニ、詰リ斯様ナ船舶金融ノ如キモノヲ扱ハセルガ適當デアアルカト考ヘレバ、是ハ興業銀行ガ一番適當デ、結局町田君ノ御話ト何ノ違ッテ所ハナイ、唯ダ町田君ハ辯說ヲ巧妙ニ言ハレマシタデ、御論ノ趣旨ハ同ジコトデアラウト私ハ考ヘマス、ソレカラ又此船舶金融ノコトニ付キマシテ町田君ノ御懸念ノ事ハ斯ウ云フコトデアラウト私ハ信ズルデアリマス、今日迄ノ興業銀行ト云フモノガ、所謂今日迄アル所ノ規定ニ依ッテ其金融ニ就テモ將來益々活動ヲシナケレバナラヌコトガアルニ拘ラズ、今日改善スル所ノ總テノ資金關係ナリ、或ハ補助關係ナリガ悉

ク船舶ニ就テ注ガレ、サウシテ尙將來ニ是等ノ必要ガ船舶ノ方面ニ向ッテノミ勢力ヲ政府ガ盡スノデハナイカト云フヤウナ點ニ就テ御懸念ニナツタヤウナコトハ、是ハ決シテ左様ニ政府ハ偏シテハ居リマセヌ、矢張資本ヲ増シマスルコト云フコトナリ、或ハ補助ヲ與ヘマスルコト云フヤウナ事柄ト云フモノハ、大體ニ於テハ此船舶金融ト云フモノ、其必要上カラ來マスル、其幾部分ト云フモノハ矢張是ガ他ノ興業銀行ノ金融ヲ培養スルコトニナルノデアリマシテ、申セバ其程度ガドレ程ニナルカハ分リマセヌガ、主トシテハ船舶金融ト云フコトノ爲ニ、斯様ナ増資トカ或ハ補助トカ云フヤウナ方法ヲ設ケマシテモ、一面ニ於テ興業銀行ノ本當ノ興業金融ニ就テノ是ガ詰リ便益ニナリマス次第御坐イマス、デウコラハ町田君ノ御説ノ如ク、極メテ極端ノ次第ハ御坐イマセヌカラ、其點ハ能ク御諒承ヲ願ヒタウ御坐イマス、大體左様ナコトデアリマス

○町田忠治君 私ノ御尋ハ初メハ大體ノ質問ノ趣旨ヲ御了解ヲ願フ爲ニシタノガ、反問見タヤウナ御説明ガアリマシタガ、大體ニ涉ッタヤウデアリマスカラ、大體ノ趣意ハ今申上ゲタコトニ止メマス、更ニ二三御尋ネシマスガ、個々ニ御答辯ヲ願フヤウニ簡單ニ申上ゲタ方ガ能ク分ルト思ヒマスカラ左様致シマス、私ガ今ノ日本銀行デシテ居ル仕事ノ或ハ見返リ品制度ノ如クスレバ、興業銀行ハヤレ、今日實際出來ルと思フノミナラズ、日本ノ工業ヲモット發達サセルニ就テハ、確實ナル工業ノ株券ノ如キモノモ日本銀行ハ將來見返リ品制度ノ中ニ加ヘル必要ガアルト私ハ思ヒ居リマス、嘗テ經濟調查會杯ニ稍々申上ゲタコトガアリマス、デアリマスガ私ノ考ハ、今ノ興業銀行ニ向ッテ斯様ナモノヲヤラセルノハ、日本銀行ガヤッテ居ルコトヲ興業銀行ニモヤラセルト云フコトハ理想トシテハ宜イガ、事實トシテハ甚ダ難イト云フコトハ承知シテ居リマスガ、唯ダ遺憾ニ思ヒマスノハ興業銀行ハ斯様ニ立派ナ業務ヲ創設シテ居ルカラ、果シテ左様ニ行ケルヤ否ヤト云フ私ノ懸念ガアリマス、殊ニ此度御加ヘナサタ社債ノ擔保引受ケ借入ナドト云フコトハ、工業發達ニ對シテ必要ナ問題ト思フ、前申上ゲマシタ如ク之ニハ贊成ヲ致シマスガ、僅ニ資本ヲ増シ將來外國テ社債ヲ募ル場合ニハ之ヲ募ッタ資金ヲ裕ニスルト云フノデアルガ、外國ニ於テ興業銀行ガ社債ヲ募ルコト云フコトハ申スマデナク世界ノ大勢カラ無論當分六ヶ敷イ、寧ロ内地ヲ募ルガ便利ノヤウニ思ヒマスガ、斯様ナ社債ヲ募ッタ金ヲ以テ、日本銀行同種ニ興業銀行ガ金ヲ融通スルコトガ出來ルカト、云フト吾々ノ想像デハ何等カノ場合ニ餘ッダ金デ一時遊シテ居ル金ガアツタナラバ興業銀行ハ株券ニ對シテ金ヲ貸ステアラウガ、大體日本現時ノ金融狀態ニ於テ、興業銀行ハ擔保ヲ提供シテ金ヲ借りル者ハアルマイト思フ、唯ダ斯様ナ茲ニ改正ヲ加ヘテ大ニ業務ヲ擴張セラレト云フ趣意デハ、世人ガ期待スルガ如キ實効ハドウカ、日本銀行ト興業銀行ノ間ニモト明確ナル資金ノ關係ヲ大藏當局トシテ著ケルニ非ザレバ、是ハ空文ニ終ルデアラウト思フ、先刻大藏大臣ノ御答辯ハ日本興業銀行ト日本銀行關係ヲドウカシヤウト云フ意味デアッタヤウニ思ハレマスガ、私ノ御尋シタノハ此御趣意ニ依テアルニハ、將來日本興業銀行ガ株券ノ擔保其他ニ依テ工業ノ發達ヲ計ルダケノ勵ヲスルニハ、果シテ日本銀行ヲシテ十分興業銀行ヲ援助サセルト云フ御決心ガアルカ、ソレガ無ケレバ空文デアルト思フ、ソレト同時ニ興業銀行ガ一方ニハ資金ノ供給ヲ得ル途ガ甚ダ乏シイ、日本銀行カラ金ヲ借りテ仕事ヲセネバナラスト云フトキ、一面勸業銀行ハ工業敷地、工場、地面、其他ニ向ッテ

便利ナ金ヲ貸ス方法ヲ持ッテ居ルニ拘ラス、一時興業銀行ヲ救済スルノ意味ヲ以テ條例ヲ改正サレタ、此固定ノ資本ノ仕事ヲ興業銀行ニ止メサシテハドウカ、即チ興業銀行ヲシテ斯様ナ資本ヲ固定スル性質ノモノハ、勸業銀行ニヤラシテ興業銀行ニハ一切サセヌ、ソレガ何故ニ工業發達ニ都合ガ惡イカ、私共ノ想像スルニハ興業銀行ヲシテ工業ノ發達ヲ遂ゲシムルニ付テハ、一層興業銀行ノ資本ヲ用エル部分ヲ或有力ナ方面ニ限定シテ、當然勸業銀行ガヤレベキ業務、殊ニ資金ヲ裕ニ持ッテ居ルヤ、勸業銀行ヲシテ其方面ノ事ヲヤラシタ方ガ宜カラウ、故ニ勸業銀行ト興業銀行ノ資金ヲ卸ス方角ヲスカリ明瞭ニスル御考ハ無イカ、先ア是カラ御尋致シマス

○國務大臣(勝田主計君) 第一ハ日本銀行ヲシテ興業銀行ヲ援助セシムルト云フ考ガ有ルカ無イカト云フ御尋、是ハ相當ノ程度ニ於テ左様ニ致シタイト思ヒマス、其事ニ付キマシテハ日本銀行ノ根本ニ立入りマシテ、種々調査モ致シテ居リマスシ、是ハ又他日諸君ノ御考慮ニ供スベキ事ガ出來ルダラウト考ヘテ居リマスカラ深クハ申上ゲマセヌ、ソレカラ勸業銀行ト興業銀行ノ兩者ノ間ニ不動產貸ノコトニ付テノ區劃ヲ限定シテ、相交又シナイヤウナ方法ガ取レナイカト云フコトガ、第二ノ要點デアリマス、是ニ付テハ先刻申上ゲマシタ如ク、多少左様ナ點ガアツタノデアリマス、併ナガラ是ハ成ルベク交叉スルヤウナ點ガ少ナイコトニ政府ニ於テハ無論希望シテ居ルノデアリマシテ、從來百幾萬圓カ百三十萬圓ノ程度ノモノガ、現今ニ於テハ段々整理シテ僅ニ四十八萬圓位ナ額ニナツテ居リマス、ソレデ今日ハ興業銀行ト致シテモ勸業銀行ノ業務ト餘リ抵觸シヤウナ事ヲヤルト云フコトニ付テハ、非常ニ考慮致シテ居リマシテ、左様ナ事ハ成ベク避ケル方針ヲ執ッテ居リマスカラ、結局ハ町田君ノ御希望ノヤウナ結果ヲ呈スルダラウト考ヘテ居リマス

○町田忠治君 私ノ御尋ガマケハッキリシナイヤウデスガ、大臣デナクテモ銀行局長デモ宜シウ御坐イマス、私ノ質問ノ精神ハ今日此席ニ限ラズ、嘗テ御承知ノ筈ト思ヒマス、一口ニ申シマス第九條ノ第一項ニハ興業銀行ノ工場ニ屬スル敷地又ハ云々、拂込資本金額二分ノ一ハ斯様ナ方面ニ使フコトハ宜シイト云フコトガ規定シテアル、此仕事ハ大體興業銀行ノアル仕事デハナイ、私ハ興業銀行ノ精神ニ於テ斯様ナ確信ヲ持ッテ居ル、斯様ナ仕事ハ當然勸業銀行ニヤラシテ、資本金ノ二分ノ一ニ此方面ニ使フ餘裕ガアルナラバ、何故ニ興業銀行ハ興業銀行ノ本體タル第一條第二條ニ掲ゲタル目的ニ向ッテ進マヌカ、斯ウ云フ趣意デアリマス、私ノ申スコトヲモット簡單ニ申スト、政府ハ將來興業銀行ノ第九條ノ一ヲ削除スルノ勇氣ガアルカ否ヤ、斯ウ言ッテモ宜ウ御坐イマス

○國務大臣(勝田主計君) 其點ニ付キマシテハ我國ノ金融機關ニ於キマシテ、大體興業銀行ト云ヒ勸業銀行ト云ヒ、先刻申上ゲルヤウニ大體ノ區別ハアリマス、アリマスガ、餘リノヲ明晰ニ致スト云フコトニナリマス所謂角ヲ矯メテ牛ヲ殺スノデ、例ヘバ勸業銀行ニ於テ資金ノ無イ折リニハ或ハ興業銀行ニ於テ之ヲヤラストカ、興業銀行ニ於テ出來ヌ事ハ勸業銀行ニヤラスト云フコトハ、實際ニ適當スルコトデハナイカ、殊ニ興業銀行ノ如キハ興業債券ヲ發行スル、此興業債券ハ十倍ニ當ル、興業債券ヲ發行スル權能ヲ與ヘタ所以ハ、御話ノ如ク短期ノ融通バカリシテ居ルノラバ、興業銀行ガ債券ヲ

發行スル必要ハ無イ、債券ヲ發行スルト云フコトハ即チ長期固定ニ渉ルモノニ貸付ヲスル必要ガアルノデ、此法律ノ精神ニ於テハ認メテアルノデアリマスカラ、ソレガ爲メニ弊害ヲ發スルト云フコトノ無キ以上ハ、大シタ差支ハ無イコト、思ヒマス

○町田忠治君 驚入ッテ御話ヲ今大藏大臣カラ聴イタ、モウ一言今ノ御答辯ヲ確ト伺ヒタイ、興業銀行ガ長ク固定スベキ貸出シヲスル必要ノ爲メニ、興業債券ヲ許シタト云フ御答辯ト承リマシタガ、左様デスカ

○國務大臣(勝田主計君) 左様デス

○町田忠治君 私ハ根本的ニ其意味ハ違ッテ居ルト思ヒマス、確ト承リタイ

○國務大臣(勝田主計君) 申ス迄モナク、興業債券ト云フモノハ成ベク債券有價證券ノ融通スルヤウナモノハ、是ハ短期ノモノデナケレバナリマセヌガ、有價證券ヲ擔保ニ致スモノデモ、亦多少長期ニ渉ラナケレバナラヌモノアル、其他工業ノ發展上ヨリシテ財團ヲ擔保トシテ貸出スト云フ場合ニハ、仕事ガドウシテモ長期ニナルト云フコトデ、此興業銀行ガ發行スルト云フモノハ……

○町田忠治君 遺憾ナガラ私ハ一種ノ經濟政策ノ大問題ガ生ジタト思ヒマス、私ノ信ズル所デハ興業銀行ノ社債券ヲ資本金ノ二十倍發行スル權能ヲ許シタノハ、興業銀行ガ貸出スガ爲メ長期ニ固定スルタメニ出來タ趣意デハナイ、寧ロ興業銀行ガ最モ重キヲ置クノハ財團其他ニ依ッテ社債券ヲ發行スルト、ソレヲ興業銀行ガ其社債券ヲ引受ケル資金トシテ興業債券ヲ發行スルノガ最モ必要ナルコトアル、興業銀行ノ社債券ヲ發行サセル特許ノ眼目ハ其處ニアル、然ルニ大藏大臣ガ興業銀行ヲシテ社債券ヲ發行セシムル特許ヲ與ヘタナラバ、長期ニ固定スル貸付ノ爲メ必要ガ出來テ來タナラバ——私ハ大藏大臣ノ折角ノ御意見アルガ、御同意ガ出來ヌノミナラズ、興業銀行ヲシテ社債券發行ノ特別ヲ與ヘタ根本主義ニ悖ルモノト信ジマス、併シ是レ以上ハ意見ニナリマスカラ致方ハナイガ、唯遺憾ナルハ大藏大臣ノ口ヨリ、興業銀行ノ社債券發行ハ、興業銀行ヲシテ長期固定貸付ノ爲メスト云フ必要ノ爲ニ出來タト云フ一言ヲ聴クコトハ、甚ダ遺憾トスルト云フコトヲ申シテ置キマス

○成田榮信君 一昨日私ハ書類ヲ請求シテ置キマシタガ、早ク出シテ貰ヒタイ、ソレデ質問致シタイ點ハ數箇ニ亙リマスカラ、極ク要領ノミヲ申シマス、大正二年度ニ於テ興業銀行ハ六百萬圓程ノ非常ナル缺損ヲシテ、大整理ヲ行ツタ、此整理ノ内容ハ書類ヲ見マセヌカラ分リマセヌガ、思フニ其内容ハ年々償還シテ行クコトニ極ッテ居リマセウガ、爾來整理案ノ通り行ハレツ、アルヤ否ヤ、ソレカラ其整理後ニ於テ又整理ヲシナケレバナラヌヤウナ貸付ノモノガアリハセヌカ、其他二年度前後ニ於テ或ハ利子トカ何トカ所謂滞リモノ、程度ガドノ位ニナツテ居ルカ伺ヒタイ、而シテ大藏大臣ヨリ御話ニナリマシタ、興業銀行ノ利益ヲ主眼トスル所ノ、所謂精神マデモ開發シテ行カウ、株券ノ應募又ハ買入ト云フコトハ非常ニ進シタル時代ノ要求ニ應ジタルモノデアッテ、一面カラ見ルト大藏大臣ノ大英斷デ、國家ノ爲メハ感謝スル次第アリマスガ、從ッテ之ヲ運用致ス人ヲ得ナケレバ其ノ明文ガアツテモ、之ヲ活用シ得ル人ヲ得ナケレバ、何等意味ヲナサヌコトニナリハセヌカ、從來ヤッテ居ル所ノ方針營業方法ヲ調ベテ見マスト甚ダ遺憾千萬ナコトガ多イ、例ヘバ戰後興業銀行トシテハ非常ニ活動シナケレバナラヌ時機アル、所謂

銀行家カラ申セバ小銀行ハ金ガ剩ッテ金融緩慢ナル時機デ利益ガナイガ、寧ロ興業銀行ハ成金時代ト云ッテモ宜イ盛シナ時代デアッテ、一面ニ國家的觀念ガアレバ之ニ努メナケレバナラヌノ、彼ノ特許ヲ得テ居ル債券發行高ヲ見マシテモハ千二百七十萬圓位デアッテ寧ロ是ナドハ發行高ノ極度マデ一億五千萬圓位ノ活躍ヲ求メタイト心得テ居リマシタ然ルニ此時機ニ處スル所ノ途ヲ少シモ心得テ居ラヌ一言デ申セバ無能アル、或ハ本案第五條ニ於テ理事三名以上ハ云々、或ハ專務理事ヲ一名置クト云フコトデ、或ハ今迄ノ缺陷ヲ補ヒ船舶運用ニ付テハ此時代ノ要求ニ應ジテ遺憾ナイト云フ考デアレバ、何ヲカ言ハンデアリマスガ、私ハ從來ノ歴史、從來ノ實績ニ見テ、如何ナル良策ヲ施スモ活躍シテ利益ヲ得ルコトハ出來ヌト思ヒマスガ、大藏大臣ハ果シテ之ニ付テハ十分ナリト云フ御考ガアルヤ否ヤト云フコトヲ一ツ確メテ置キタイ次第御坐イマス、而シテ勸銀ト興業銀行ノ御話モアリマシタガ、私ハ斯ウ云フコトヲ一ツ同ッテ置キタイ積リデス、幸ニ此六ヶ敷イ所ノ株券ノ應募及買入マデヤラウト云フ大精神ヲ茲ニ含シ以上ハ、進シテハ此特色ヲ發揮シテ、證券銀行トスル意味ガ有ルカ無イカト云フコトヲ確メテ置キタイ、是ハマダ進シテ申シマシタナラバ寧ロ日本銀行ノ見返リ品ノ制度ヲ廢シテ興銀ニ之ヲ營マシメルト云フコトモ、是ハ稍モ早イウデアルガ、大ニ將來此見地モ十分ニ御考慮ヲ願ヒタイ積リデアル、是等ニ付テ大藏大臣ハドノヤウナ御考ガアルカ否ヤト云フ點ヲ伺ッテ置キタイ積リデアル、今回増資致シマスノハ千二百五十萬圓、此増資ノ方法ハ從來ノ株主ニ一株宛普通商業會社ノヤル方法ニ依ッテ割當テルモノデアルカ、之ヲ世間一般ニ應募スル考デアルカ、無論銀行ノ當事者ノヤルコトデ御坐イマスガ、大藏大臣トシテ監督權ヲ持タル大藏大臣ノ御意見ヲ伺ッテ置キタイ、而シテ私ノ考ハ此點ニ付テ斯様ニ考ヘテ居リマスカラ、一言御參考ニ申述ベテ置キタイ積リデス、唯今申述ベマシタ如ク四百五十萬圓以上ノ缺損ガアルト心得テ居ル、此缺損ヲ補フ意味ニ於テ若シ此本案ガ通過致シマシタナラバ、成ルベク一般ニ募集ヲ致シマシテ、所謂世ノ「プレミヤム」ガ付ケバ、或ハ二十圓付ケバ二百四十萬圓程ノモノガアリマスカラ、之ヲ缺損ニ充テ、補フト云フコトモ一舉兩得ト云フコトニナランカト思ヒマスガ、併セテ私ノ愚見ヲ御參考ニ申述ベテ置キマス、而シテ船舶運輸及產業組合ニ貸付ケル金ハ、假ニ此興業銀行ノ特權ヲ得テ居ル所ノ債券發行高ノ極度ヲ往キマシテモ、僅ノモノニ三億萬圓、此改正案ガ成立ツテ、二億萬圓、而シテ二億萬圓ト云ヒマス、餘程普通ノ銀行ト致シマシテハ莫大ナ金ニナルヤウデ御坐イマスガ、船舶業ニ貸付ケルト云フコトニナリマス一億一億五千萬圓位ノ僅ノモノヲ大キナ船ニ貸付ケマストナルト五杯カ十杯デ直ク充テテ仕舞ヒマス、將來是ガ資本ニ付テハ或ハ時勢ノ關係、或ハ預金部ナドノ關係モアリマスカラ、十分ノ徹底スル程ヤル所ノ強イ意味ニ於テオヤリニナル積リデアルカ、又サウ云フヤウナ興銀ノ金ノ逼迫ノ場合ニ手ヲ束ネテ居ルトセバ、之ヲ飽迄有意味的ニ殘サヌ固イ意思ガアルカ否ヤト云フコトモ、一言確メテ置キタイ積リデス、後トノ事ハ他ノ政府委員ヨリ承ッテモ宜シウ御坐イマスガ、唯モウ一ツ二十六條ノ五箇年ヲ限ッテ毎年二十萬ノ補給ヲスル、此補給ノ仕方モ他ノ商事會社デ見マスト、隨分課廢化スモノガアル、積立金トカ賞與金トカ云フモノニ利益ノアルトキニハ、ソレニ當嵌メル商事會社ナドハ課廢化シノ報告ヲシテ居リマスガ、幸ヒ大藏省ガ御監督デアリマスカラ、其様ナ慮レハアリマセヌガ、是モ嚴重ニ御

監督下スデ非常ナ雜費ナドニ餘計當儀ヲヌト云フコトニ致シマセヌト、此補給ト云フコトモ色々意味ヲ爲サヌコトニナランカ、濫費ニナランカト思ヒマスカラ、後トノ事ハ政府委員ニ伺フコトニ致シマス

○國務大臣(勝田主計君) 御質問ノ第一點ハ、整理計畫ニ付キマシテドレ位整理ヲシテ居ルカ、或ハ整理殘額ハドレ程アルカト云フヤウナコトデアリマスガ、興業銀行ノ波佐見金山一件ノ整理ハ、御話ノ如キハ大體整理スベキ金額ハ六百萬圓許リアルノデアリマス、大正二年ヨリ十二年ニ亘リ之ヲ整理スルコト云フ計畫ニナツテ居リマス、ソレデ現今ノ所既ニ整理致シマシタモノハ百五十三萬餘圓ト云フコトニナツテ居リマス、其殘存額ハ四百五十三萬餘圓トナツテ居リマス、是ハ豫定ノ計畫通り進ンデ居リマスノデ、此計畫ハ狂ハズト進行サセマス積リデアリマス、又銀行ニ於テモ銳意此事ヲ考ヘテ居リマスガ、豫定ノ如ク大正十二年ニ至レバ整理シ盡スコト考ヘテ居リマス、第二ハ其後興業銀行ノ業務ノ上ニ付テ整理ヲスベキ事柄ガ、何カ生ジテ居リハシナイカト云フ御話デアリマスガ、是ハ其以後ハ銀行ニ於キマシテモ、相當注意ヲ拂フテ居リマス、又政府ニ於テモ監督ヲ嚴シテ居リマス、左様ナコトハ御坐イマセヌ、第三ハ成程制度ハ非常ニ其イヤウデアリマスガ、總テ是等ヲ運用スル所ノ當事者ガ今日ノ所宜シイノデアアルカト云フ御尋デアリマスガ、是ハ抽象的ニハ頗ル御尤ナル御尋デアリマス、凡ソ我國ノ金融機關ノ制度等ニ付キマシテハ、制度トシテハ之ヲ外國ニ比較致シテ見マシテモ、サウ遜色ハナク出來テ居ルノデアリマス、併ナガラ之ヲ運用スル者ガ其當ヲ得ナイト云フヤウナコトデアリマス、折角能ク出來タ制度ト云フモノモ其効ヲ爲サヌト云フコトニナリマス、隨分從來興業銀行ノ如キハ既ニ波佐見金山ノヤウナ事件ガアリ、其後ニ於キマシテモ世間ヨリシテ或ハ必要ナル制度ヲ運用スルニ、不適當ナル當事者ガ居リハシナイカト云フヤウナ懸念ガアルト云フヤウナ事モ聞イデ居リマス、此點ニ付キマシテハ政府ハ興業銀行ノ重役其他ヲ一層鞭撻監督ヲ致シマシテ、此必要ナル出來タ所ノ制度ヲ遂行セシメタルニ、極力努メル積リデアリマスガ、併シ萬一政府ガ左様ニ盡力シテモハドウカト云フコトニナリ、幸ニ諸君ガ斯ノ如キ法案ニ御賛成下スデ、其効果ヲ舉ゲルコト云フコトガ出來ヌト云フ場合ニナリマシタラ、是ハ何トカ政府ニハ相當ナル處置ヲ執ル積リテ御坐イマス、御心配ノ點ハ如何ニモ御尤ナル御心配デアリマスガ、ドウカ御任セヨ願ヒタイト云フコトヲ偏ニ希望シテ置キマス、第四ガ興業銀行ハ證券銀行トシテ專ラ働カセルノデアアルドウカ、此點ニ就キマシテハ先刻町田君ノ御尋ニ對シテ、大體申上ゲテ置キマシタガ、若シ興業銀行ガ將來ニ於テ、十分ナル發達ヲ致シテ其當時ノ經濟狀態ガ興業銀行ヲ證券銀行トシテヤル必要ガ起ツタラバ、證券銀行トシテ働カシテモ宜イカモ知レマセヌガ、併ナガラ今日ノ見地カラ致シマス、日本銀行デモ、興業銀行デモヤルト云フコトガアリマセヌ時ハ、此經濟ノ狀況ニ適應シナイト考ヘル、又近ク經濟上ニ於テ專ラ興業銀行ニ依頼スルコトガ出來ルカト云フコトヲ考ヘテ見マス、是ハ將來ノ豫想デアリマスカラ、斷言ハ出來マセヌガ、左様ナ時機ハサウ速カニ來ルモノデナイ、若シ左様ナ時機ガ來タラバ、其時ニ能ク考慮致シタラ宜カラウト、斯様政府ハ考ヘテ居リマス、第五ハ増資ヲ致ス場合ニ、是ハドウ云フ方法ニ依ッテ増資ヲスルカト云フ御尋デアリマスガ、今日ノ所大體ノ見込ハ公衆應募ト云フコトヲ考ヘ有ッテ居リマス、第六ハ船

舶ノ資金ガ今日ノ狀況カラ、將來ヲ推測シテ見マス、中々一億二億デハ足ラヌ、然ルニ僅バカリノモノデアッテ行クト云フコトデアルガ、將來飽マデ船舶金融ノコトヲ興業銀行デアッテ行クコトハ、徹底スルカドウカト云フ御尋デアリマスガ、是モ今日ノ所ハ御承知ノ通り船舶ヲ抵當シテ各普通銀行等ニ資金ヲ求メテ居リマス、大體七千萬バカリアリマス、全國デス——ソレデ先ツ當面ノ所ハ二千萬位ノ所ノ程度ノモノヲ融通スレバ、サウ不足スル所ハナイノデアナイカト斯様ニ考ヘテ居リマスガ、是ハ尤モ海運界發展ノ狀況ニ依リマシテ、其金融ヲ必要ト致スト云フコトデアリマス、尙ホ此機關ヲ設ケマス以上ハ出來ルカデ此等十分満足ヲ與ヘルト云フコトハ、大イニ努力シナケレバナラヌト思フノデアリマス、ソレカラ先刻一寸申シマシタ如クニ、若シ船舶ノ金融ト云フモノガ立派ニ獨立シテ成立ツト云フヤウナコトノ狀況ガ、明白ニナツテ來マス、云フコトデアリマス、左様ニ巨額ナル船舶金融ノ必要ガ起ルト云フコトデアリマス、是亦特別ノ方法ヲ執ッテ、之ニ資金ヲ供給スルコト云フコトモ考ヘラル、ノデアリマス、其他海外ノ船舶ニ對スル金融ノ狀況ヲ見マシテ、當ニ興業銀行ニ信賴スルノミナラズ、種々ナル方面ノ金融ト云フコトガ將來私ハ起ッテ來ルト、斯ウ想像シテ居リマス、大體ニ於キマシテ政府ガ船舶ニ對スル金融ト云フモノニ盡力スルコト云フコトヲ考ヘ開イタ以上ハ、之ヲ徹底サセルト云フコトハ尤モノ話デアリマス、唯世上ニ一ノ議論ガアル爲ニ、之ヲ申譯的ニ提出シタト云フ事ハ、左様ナ精神ハ少シモ有ッテ居リマス、ドウカ其點ハ御了承ヲ願ヒマス、ソレカラ第七ノ補助ノ點ニ就テ御警告デアリマスガ、是ハ御尤至極ノ御警告デアリマス、政府ガ補助ヲ與ヘルト云フ以上ニハ、能ク其銀行ノ狀態ヲ詳ニシテ計算ヲ明ニ致シマシテ、法律ノ規定ニ依リマシテ、嚴格ニ是ハヤル積リデアリマス、ドウカ左様ニ御含ミヲ願ヒマス

○町田忠治君 極ク簡單ニ私ハ——先刻ノハ來日ト致シテ宜シイカラアレハ暫ク讓ッテ置キマシテ、興業銀行ノ改正ノ大體ノ御精神ニ賛成致シマスガ、是デハ未ダ日本ノ工業ヲ獎勵發達セシムル資金ヲ得ルニハ乏シイ、政府ハ近キ中ニ最モ經濟社會ガ希望シテ居ル信託法デモ發行セラレテ、其信託機關ニ依テ工業ノ資金ヲ圖ルト云フ御考ガアルカナイカ、ソレヲ——

○國務大臣(勝田主計君) 工業ノ供給ニ就キマシテハ私ハ實ハ全般ニ涉ツタ所ヲ申シマセヌカラシテ、此法案ニ就テノ申上ゲデアリマス、甚ダ偏狹ノコトノヤウデアリマス、スケレドモ、私共ノ考ヘ町田君ノ御考ト同ジコト、思ヒマス、我國ノ工業ヲ發展セシムルト云フコトニ就キマシテハ、渺タル特殊銀行ナドニ依頼シテヤッテ置クト云フコトハ逆モイカヌノデアリマス、是ハ一ツノ方法ニ過ギナイ、ソレデ一般ノ普通銀行ト云フモノニシテモ、是モ矢張り所謂生産業ト密接ノ聯絡ヲ保タシメテ、此等ニ投資セシメルト云フコトヲ段々獎勵シテ行カナケレバナラヌコトデアリマス、又一面ニハ唯今御話ニナリマシテ信託業ト云フコトデアリマスガ、此信託業ニ就キマシテハ大藏省ニ於キマシテハ多年研究ヲ致シテ居リマス、實ハ此研究モ略々八分通り出來マシテ尙ホ信託業務ノ實際ヲ調査スル爲ニ、大藏省デハ海外ニ人ヲ派遣致シマシテ、ツイ此頃歸ッテ來マシタ、是カラ聞イテ見マシタガ此等法理上ノ關係デナク、實際上ノ關係ト云フモノヲ能ク吟味致シマシテ、出來得ルナラバ此等ノ議會ニハ信託ニ關スル法案ヲ提出致シタイ、斯様ニ思ッテ居

ルノ御坐イマス

○正木照藏君 少伺ッテ見タイアリマスガ、此船舶ヲ抵當ニ取ッテ之ヲ片付ケルト云フコトハ、此法案ノ趣意ト考ヘマスガ、御承知ノ通り船舶ト申スモノハ他ノ動産等ト違ヒマシテ餘程特殊ノモノデアリマスカラ、之ヲ抵當ニ取ッテ金ヲ貸付ケルト云フコトハ專門ノ者ニヤラセナケレバナラヌト思ハレル、世ニ船舶金融銀行ヲ別ニ持テ往クコト云フコトハ、此度此興業銀行ノ中ニ御加ヘニナルニ就テハ、第一ニ銀行ノ中ニトウ云フ機關ヲ御設ケニナッテ、此事ヲ取扱フニ就テ二年以上六年以上増スト云フコトニナルト、利子モ餘程成績ガ變テ來ルコト、思ヒマス、ドウ云フ機關ヲ御設ケニナリ、又金ヲ貸スニ就テ船舶價ハ如何ナル方法ニ依ッテ御設ケニナルカ、種々ノ方法ガ御坐イマシテ、今日ノヤウナ多額ニナッテ居ルトカ、船舶價ノ取極ト云フコトハ餘程ハケ敷イ、ソレハドウ云フ方法ニ依ッテ御取極メニナルカ、又十五箇年隨分長イ期間ニ於テハ、或ハ危險ニ遭遇シテ沈没スル憂ナキニアラズ又衝突或ハ暗礁ニ乗上ケルコトモナイトハ限ラヌ、沈没ハ別デアリマスガ衝突シマスルト大變船舶價ニ狂ヒガ生ジマス、又外ニ出 マスレバ色々先キニ買ハナケレバナラス財源ナドガ澤山出來テ來ル、ソレノ仕方ニ就テ斯ウ云フモノハ何處ニ使フト云フヤウナコトモアリ、種々ナ面倒ナコトモ起ル、モウ一ツハ保險トノ關係、保險トノ關係ハドウナルト云フヤウナコトガ最モ之ニ關係シタハケ敷イコトデ、モウ一ツハ抵當流レ、抵當ニ取ッタモノハ直グ使フ譯ニハ行カヌト云フコトガアル、私共ノ實驗シタコトデ、第十五銀行デ三四艘流レマシテ大ニ弱タコトガアル、一々其儘置イテ置クト云フコトハ出來ヌ、抵當流レニナッテ時分ハ隨分困ル、又更ニ進シテ運送貨物船料ヲ擔保トスルコトハ、運送貨ハ先キヘ行デカラデナケレバ取ルコトハ出來ナイ、任務ヲ終了シナケレバ取ルコトハ出來ナイノガ原則ガ、サウ云フヤウナモノヲ如何ナル方法ニ依ッテ運送貨ヲ擔保ニ御取極メニナルカト云フコトニ就テ、是ハ餘程詳細ニ涉ルコトデアルカラ大臣ノ御答辯ハドウカ大體ドウ云フコトデ御定メニナッテ居ルカ其邊ヲ伺ヒタイ、次ニ二十萬圓ノ補助金ヲ下附スルト云フコトハドウ云フ所ヲ基礎トシテ御計算ニナッタカ、或ハ前ニ御答辯ガ有タカドウカ知ラヌガ、私ハ少シ遅刻シマシタカラ伺ヒマスガ、何年ト云フコトカラ御計算ニナッタカ、モウ一ツハ造船主義ハ是非非常ニ船舶ノ製造上ニ及ボスコトハ多クハナイカト思フガ、是等ノ點ニ付テ伺ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(勝田主計君) 第一ノ御尋ノ點ハ頗ル詳細ニ涉ルコトデアリマシテ、實ハ私等モ十分承知シテ居ラスコトデアリマス、茲ニ私が直ニ御答辯スルコトモ出來兼ネル次第アリマスガ、大體ニ於キマシテハ船舶ノ金融ト云フモノハ非常ニ困難ナルコトアルコトハ、是ハ唯今正木照藏君ノ御話ノ通りデザイマシテ、ソレデ今回興業銀行ヲシテ船舶ニ金融ヲ爲サシムルコトハ、興業銀行ニ船舶金融部ガ出來マシテ、是ハ重役ト致シマシテモ船舶ニ堪能ナル所ノ者ヲ以テ組織致シマシテ、其他行員ト致シマシテハ適當ナル鑑別ヲシテ入レマシテ、是カラシテ十分ニ右御話ニナリマシタ所ノ困難ナル事情ノコトハ、慎重ノ調査ヲ致シマシテ、サウシテ貸出ヲ實行致スコトニナラウト思ヒマス、唯船舶價ヲドウ云フ風ニ極メカ擔保流ハドウスルカ、左様ナ具體的ノコトニ就テハ今直ニ私カラ此處デ御答スルト云フコトモ困難御坐イマスガ、大體ニ左様ナコトニ付キマシテハ、慎重ニ調査ヲ致シマシテ決行ヲ致スコトニ致シタイ、斯様ナコトニ考ヘテ居リマス、ソレカ

ラ第二ノ點ハ補助ノコトデ御坐イマスガ、此補助ノ事ハ是ハ斯様ナ割出シテ御坐イマス、千二百五十萬圓——約千二百五十萬圓位増資スル、ソレノ四分ノ一ヲ拂込ムト假リニシマスガ、三百萬圓ト云フコトニナル、三百萬圓ノ七歩ト見テ三七、二十一萬圓程ヤレル、約二十萬圓ト云フヤウナコトニ大體致シマシタノ御坐イマス、後トハ政府委員カラ御答致シマス

○政府委員(森俊六郎君) 唯今御尋ニナリマシタ、價格ヲ極メルト云フコトデ御坐イマスガ、是ハ興業銀行法ノ第六條ニ於キマシテ主ナル規定ヲシテ置ク、船舶ノ重要ナル點ハ銀行法規ヲ設ケマス、其細目ハ政府ノ認可ヲ受ケル、興業銀行ガ定款ニ之ヲ規定スルト云フ考ヘデ御坐イマス、唯今ノ御尋ノ細目ニ價格ヲ極メルト云フコトハ如何ニ極メルカハ、保險附ノモノニ限ラナイ、全部ノ定款ニ讓リマス考ヘデアリマス、唯今ドウ云フコトニ極メテ居ルカト云フコトハ確定シタハナッテ居ナイデアリマスガ、大體ニ申スト致シマシテハ製造價格ヲ標準トスルヨリ外ハナイト考ヘマス、ソレニ船舶等モ鑑ミマシテ、製造價格、船舶ニ依リ變更ノ價格ヲ引去ツタモノ、斯様ナモノヲ抵當ノ標準ト致シマス、其何割ヲ附ケルカ、先取特權ト云フコトニ付キマシテハ大分商法上ノ種々ノ極マリガアリマシテ、賣買ニ於キマシテ金額ニ上ボルコトハ勿論先取特權ガ抵當權ニ先ダツ場合モアラウト思ヒマス、ケレドモ其金額其他ニ致シマシテ金高ノ大體ニ於テ、是ガ爲ニ抵當權ヲ害スルト云フコトハナカラウト思ヒマス、船舶ヲ全部信用ノアル保險會社ノ保險附ノモノニ使用スル、保險金ト先取特權トガ果シテ保險金ノ上ニ及バカ及バヌカト云フコトニ就テハ、多少法曹學者ノ間ニ議論ガアリマス、保險金ニ先取特權ハ及バヌノデアル、貸付ニ限ラヌ先取特權ニ先キ立ツヤウナリマス、抵當ノ拂込ノコトハ是ハ唯今ノ御話モ御坐イマシタガ、普通銀行デヤッテ居リマス、不剛ノ普通銀行ノ業ト致シマシテハ洵ニ危險ニ思フ點ガアリマス、例ヘバ大臣ヨリ御説明モアリマシタ通り、重役ヲ政府ヨリ船舶ニ堪能ナル人ヲ兩三名之ニ加ヘルコトニ致シマス、其他船舶ニ堪能ナル顧問デアリマス、評議員ガアルト云フ形ニ於テ、其知識モ利用スルコトモ出來ヤウト考ヘマス、是等ノ程度ニアルコトト考ヘルデアリマス、運送貨物ナカノコトモ、是ハ即チ運送貨ガ渡ッテカラ後トテ取レルモノトシテモ、之ヲ財源トシテ擔保トシテ貸付ケルト云フコトハ、船業ヲヤル者ニヤラシタイト考ヘテ居リマス、是ハ非常ナル希望ヲ期待シテ居ル譯デアリマス、ソレカラ造船工場貸付ノコトハ是ハ御尤ナルコトデ御坐イマスガ、興業銀行自體ノ業務ト致シマシテ、既ニ出來ルコトデ、其方面ニ依テ融通ヲ附ケルト云フコトニ致シマス考デアリマス、今度ノ改正案ニハ其方ガ出デ居リマセヌ

○正木照藏君 入込デ居ルコトデ御坐イマスカラ此處デ御答スルコトハ、チト御答ニ困難御坐イマセウガ、既ニ二十五箇年以内トカ五年以内トカ云フヤウナ確リシタ數字ヲ現ハスコトハ出來ナクモ、之ヲ議ニ御掛ケニナル以上ハ、相當之ニ關スル御見込ノ運送貨ハ如何ノ方法ヲ以テ之ヲ抵當ニ取ルト云フコトハ船舶ガ無クナレバソレヲ拂フコトガ出來ナイト云フヤウナコトデ、之ヲ御書キニナルコトハ中々面倒ナコトデアッテ、漠然ト御遣リニナッテモ十五箇年ト云フ丈デ、偶々年賦償還ト云フ抵當ヲ御加ヘニナルナラバ別ニ此所ニ御伺ヒシナクテモ宜イデアリマス、既ニ此處ニ數字ヲ御書キニナッタ以上ハ、相當ノ確信ガアルト信ジテ伺ッタデアリマス

○政府委員(森俊六郎君) マダ確定のニナッテ居リマセウガ、大體ニ於キマシテ船齡ヲ二十五年位ニ見テ居リマス、其船齡ニ依テ評定ノ製造價格ヲ標準ト致シマシテ、其六割トカ三分ノ二トカ云フ標準ニ貸附ヲ致シテ行クコトニナラウト思ヒマス、併シ船齡ノ間際ニ達シマシタモノデモ、船齡以內ノモノハ貸付ヲスルト云フコトデアリマス、船齡ヲ越ヘタモノハ融通ハ仕惡イデアリマス、成ベク船齡前ノモノニ融通スルト云フコトニナリマス、貸付モ十五年ヲ大體ノ目安ニ致シマシタデアリマス

○正木照藏君 唯今政府委員カラノ御説明ニ依ルト、製造元價ヲ土臺トシテ貸付ケルト云フコトデアルガ、ソレハイカニ、製造元價ノニシテ居ッタナラバ製造業者ノ求メニ依テ貸付ケルコトハ出來ナイ、製造元價ハ十倍ニナッテ居ル、或ハ二十年、二十五年、三十年既ニ船齡ガ滿チテ仕舞ッタモノモ百万圓モ貸付ナレバナラヌト云フコトニナル、此處デ專門家デナク政府委員ニ對シテ色々御聽スルノ御氣ノ毒デアリマスガ、此邊ハ餘程御研究ニナラヌト大體ニ於テ目的ガ達シナイ、此點ニ付テハ尙ホ能ク御調ヲ願ヒタイ、又運送賃、貸船料ト云フモノハモウ少シ具體的ニ書イタ方宜イト思ヒマス、保險ト色々ノ關係上面倒ガ起ッテ來マス、若シ詳シク御調ベニナッテ居ラヌケレバ、概括的ニ御ヤリニナッテ宜カラウト考ヘマス、是ハ何レ意見デ御坐イマスカラ御參考ノ爲ニ一寸申上ゲテ置キマス

○委員長(江藤哲藏君) 此船舶抵當ノコトハ當局者ニ於テハ今ノ時局ニ際シ、一日モ忽セニスベカラザル極メテ緊急ノ必要ヲ御認メニナッテ居ルカドウカ、ト云フモノハ正木君ノ御質問ハ誠ニ専門的ニ要領ヲ得テ居ッテ、吾々ノ聽カント欲スル所デアリマス、事專門ニ互ルト云フノ詳細ナル御説明ヲ聽クコトノ出來ヌノハ遺憾ト思ヒマスガ、今ノ時局ガドウ云フ状態デアルカト云フ、船舶位此時局ニ好影響ヲ受ケテ居ルモノハナイ、平タク申シタナラバ、船舶業者程金ヲ儲ケテ居ルモノハナイ、世ニハ所謂船成金ト云フ妙ナ變タ言葉モ出ルヤウナコトデアッテ、如何ニモ船舶業者ノ利益ト云フモノハ莫大ナモノデアル、而シテ又船ノ價格ト云フモノモ殆ド普通ノ場合カラ考ヘレバ、想像ノ出來ヌ程暴騰シテ居ル、サウ云フ状態ノ下カラ考ヘレバ、船舶業者ノ多クノ人ト云フモノハ、實ハ其船舶ニ付テ融通ヲ求メルト云フコトヨリモ、金ガ有リ餘ッテ他ノ新規ナル事業ニ關係シタイト云フヤウナ趨向ノ如ク見受ケルノデス、ノミナラズ今申上ゲルヤウニ船舶ノ價格ト云フモノガ、今非常ニ暴騰シテ居ル時デアリマス、今ノ政府委員ノ御説明デハ製造元價ヲ標準トシテヤルト仰シヤッタケレドモ、此事ハ現在ニ於テ正木君ノ仰シヤルヤウニ何等ノ意味モ爲サヌデアリマス、然ルニ現今ノ時價ヲ以テ普通融通スル場合ニ應ズルコトハ出來ヌト思ヒマス、諸般ノ事情カラ考ヘレバ、此船舶ノ融通ト云フコトハ年來ノ懸案デアルト云フコトハ承知シテ居ルガ、其懸案ノ最モ不必要ナ時代ニナッタノデハナイカ知ラヌト私ハ感ズルノデス、何レ又此調子ガ改メテ何レノ場合ニカ又其必要ガ起ルデアラウガ、此特別議會ニ是非共之ヲ成立サセナレバナラヌト云フヤウナ必要ヲ御認メニナッテデアルカドウカ、吾々ハ了解ニ苦ムデアリマス、其點ニ付テ當局者ノ御意見ハドンナモノデアルカ、之ヲ一ツ伺ッテ置キタイト思ヒマス

○國務大臣(勝田主計君) 唯今誠ニ適切ナル御尋デ御坐イマシタガ、此點ニ付キマシテハ成程極ク平易ニ考ヘマス、今日ハ金融モ緩慢デアリシ、又船舶業者ナドモ非常

ニ利益ヲ得テ、餘リ他ニ融通ヲ求メルト云フコトハ不必要ノヤウニ見エマスガ、併ナガラ是ハ政府ガ今回特別議會ニモ拘ラズ、斯様ナ案ヲ提出致シマシタト云フコトハ、今日ノ場合ニ於キマシテ所謂船腹ノ不足ト云フヤウナコトハ、是ハ重大ナル問題トナッテ居リマシテ、議員ノ御方ヨリモ色々政府當局ニ向ヒマシテ質問モ出ルヤウナコトデアリマス、之ニ對シマシテハ政府ト致シマシテ此時局ガ尙ホ前途何レノ時ニ終熄スルト云フコトモ分ラヌ次第御坐イマスカラ、十分ナル解決ノ手段ヲ立テナレバナラヌト思ヒマス、即チ造船等ニ付テハ相當ナ計畫ヲ立テマセヌケレバ、内地ノ運輸ノ便宜ニ應ズルコトノ出來ヌノミナラズ、又或ル場合ニ行キマス同盟國其他與國ノ貨物ヲ運送スルコトノ必要ガ起ルカモ知レマセウ、デドウシテモ造船計畫船腹ノ解決ハ大急ギニヤラヌケレバナラヌト考ヘマス、ソレトモウ一ツハ船舶ノ金融ケケテ御坐イマセウガ、大凡金融機關ハ多少ノ經驗ハ私共有シテ居リマスガ、造リマスニ當ッテ中、直グニ働キマセヌト、船舶金融ノ如何等ハ猶更私ハ考ヘテ居リマスガ、餘程前ニ注意ラシテ置キマセヌト、金融機關ヲ作ルトソレヲ直グ役ニ立ツカト云フトサウ云フ事ニハ參リマセウ、金融ヲ圓滑ニ致シテ置キマセレバ前以テ準備講究モシナケレバナラヌセウ、デ成ベク此事ハ十分用意ヲスル必要ガアリマシテ、ソレヲ特別議會ニ拘ラズ此案ヲ提出致シマシタノデハ、今日普通ニ考ヘマス、丁度唯今江藤君ノ御話ノ如クニサウ大シテ必要ノ如ク見エテ居ラヌガ、存外是ガ必要デ御坐イマスカラ、ドウカ其點ハ然ルベク御含置キヲ願ッテ置キタイデアリマス

○委員長(江藤哲藏君) 唯今ノ御答ハ斯ク解決シテ宜ウ御坐イマスガ、非常ニ必要ナルコトハナイガ、眼ニ見エヌトコロニ必要ガアルカモ知レヌト、又金融ノ事ハ一朝一夕ニハイカヌモノデアル、非常ニ必要ナルコトガ表面ニ現ハレタル時ノ爲メニ今日カラヤッテ行クノデアルト、斯様ニ解釋シテ宜ウ御坐イマスガ

○國務大臣(勝田主計君) 少シク違フヤウデアリマス、詰リ造船ノ必要——造船ノ必要ト云フヤウナコトハ即チ船腹ノ調節問題カラモ起ッテ來マシタガ、是等ハ我國家ノ急務ニ迫ッテ居リマス、サウ云フ計畫ヲ立ッテヤリマスレバ、ドウシテモ金融ヲ第一ニ付ケテ置カヌケレバ、此時局ニ應ズルコトガ出來ヌト云フ機運ガ迫ッテ居リマス、其事ト一面ニハ銀行業體カラ申シテモデス、茲ニ銀行ガ出來タトシマシテモ、其銀行ガ直グニ適當ノ活動ヲスルト云フコトハ困難デアリマスノデ、成ベク早く一日デモ早ケレバ船舶金融ノ圓滑ヲ計ルニ付キマシテハ、非常ノ便宜ヲ得マスカラシテ、詰リ此特別議會ニ提出致シタデアリマシテ、少シク御話トハ意味ガ違フヤウニ思ヒマスカラ辯明シテ置キマス

○委員長(江藤哲藏君) 私ノ申上ゲタ所ト大同小異デアルト思ヒマスガ、更ニ御説明ヲ煩ハシタイノハ、此海運ノ事ニ對シテ政府ハ統一アル船舶若クハ施設ヲナサレテ居ルカドウカ、其點ニ付テハ多少吾々ハ疑問ガアル、ソレハ何カト云フト一面ニハ政府ハ本期議會ニ造船獎勵費ノ訂正ノ案デモ出ナケレバナラヌガ、ソレガ今ハ其時期ニ達シテ居ラヌカラト云フノデ、政府カラ何ニモ出テ居ラヌデセウカ、現今ノ海運界ノ状態ニ依レバ此航海獎勵費ノ如キモ、若シ今年ガ期限デアッタナラバ之ヲ減額スルトカ云フコトハ、殆ド輿論トナッテ居ルコト、思ヒマスガ、斯ウ云フ場合ニ於テ船舶ノ程度ニ於テ能ク御尋ラシテ見レバ貸付ノ率ヲドウスルトカ云フ種々ノ正木君ノ御問ノ如キ項目ヲモ未ダ調査モシテ居ラヌ、研究モシテ居ラヌヤウデアリマスガ、其邊ノ事ハ何カ大體ノ政府ノ海運界

ニ對スルコトニ矛盾ガアルト思ヒマスガ、其大體ヲ伺ヒマス

○國務大臣(勝田主計君) 是ハ或ハ遞信大臣ガ出席シテ説明ヲナスコトヲ適當ト致スト考ヘテ居リマスガ、私ノ考ヘテ居ル所ヲ述ベマスレバ、唯今江藤君ノ御質問ノ大體ノ御趣旨ハ、海運政策ニ矛盾ガアリハセヌカト云フコトガ要點ノヤウデ御坐イマス、其例證トシテ船舶ノ獎勵ヲ一時停止スルコト云フコト、ソレカラ獎勵費ツ事ニ付テモ何等政府ハ之ニ向ッテ處置セヌト云フヤウナコトヲ例ニ御引キニナリマシタガ、船舶ノ造船獎勵ノコトハ是ハ近年ノ狀況ニ於キマシテハ、ドウシテモ今日以前ニヤッテ置カケレバナラヌコトデアッタヤウデアリマス、即チ近年我國ニ於テ執リマシタ所ノ政策ハ是ハ善惡ハ申シマセヌガ、兎ニ角造船ヲシテ其造船ノ實績ヲ見マス、非常ノ高價ヲ以テ之ヲ外國人ニ賣買スルコト云フヤウナコトニナッテ居ルヤウデ御坐リマスガ、一面ニ於テハ非常ノ利益ヲ得テ居ッテ、之ヲ外國ニ賣ルコト云フコトデアリマスレバ、國家ノ造船ト云フコトヨリシテ得ルコトノ此補助金ノ如キモノハ、之ヲ一時中止致シテ見ルト云フコトモ必要デアッタノデハナイカトモ考ヘマスガ、今日之ヲヤルコトハ多少時候後レノ感ガアルカモ知ラヌガ、ドウモサウ云フ筋モノデナイカ若シ左様デナケレバ外國ニ對シテ船舶ヲ賣ルコト云フコトハ、要スルニ主トシテ我與國ニ對スルコトデ、與國ニ對シテ船舶ノ供給ヲ致スコトデアリマスレバ、寧ロ一ツノ手段トシテハ、個人々々ガ船ヲ賣ルコト云フコトヲ禁止シテ、其代リ金ヲヤッテ船ヲ造ラセル、サウシテ之ヲ與國ニ供給ストカ云フヤウナコト、斯ウ云フ方法モ一ツノ方法デアリマス、ソレデハ今日マデノ所ハ兎ニ角是等ノ政策ニ付テハ遺憾ナガラ何等考ヘテナカッタデアリマスガ、今日ノ現況ニ見マシテ外國ニ高價デ賣ル船ニ對シテハ獎勵金ヲヤッテ居ルト云フコトハ、是ハ先ヅ中止シタ方ガ穩當デアラウ、サウシテ愈々戰爭デモ長ガ引イテ外國ニ船舶ヲ供給スルノ必要ガアレバ、寧ロ是ハ個人ガ船ヲ外國ニ賣ルト云フコトハ禁止シテ、サウシテ政府ト政府トノ共助ノ詰リ働キニ之ヲ任スト云フコトノ方ガ宜シイデハナイカト云フコトデアリマスノデ、段々此時局ノ進ムニ從ヒマシテハ、政府ニ於キマシテハ左様ナ手段方法ヲ執ルカモ知レマセヌ、併シ是等ノ事ガ多少煮切ラヌヤウナ狀態ニナッテ居ルト云フコトハ、此事々々ガ無イノデアリマシテ、總テ事ガ兎ニ角戰爭始マッテ既ニ三年デアリマシテ、其間ニ當初執ルベキ所ノ手段ヲ執ラズトアリマシテ、段々デラノトナッテ居ルヤウナ次第ニナッテ居リマスカラシテ、ソコニ多少ノ妙ナ考ヘガ起ルト云フコトハ是ハ私ハ御尤モデラウト思ヒマス、併ナガラ今日ト致シマシテハ、ドウシテモ今回政府ガ提出致シマシタヤウナ所ノ法案ヲ出シテ、先ヅ一時停止シテ置ク、サウシテ愈々與國ニ對シテ援助トカ何トカ云フコトガアリマスレバ、是ハ他ニモウ少シ巧妙ナル手段ヲ執ッテ行クコトデアレバナラヌトス様ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ航海獎勵ノコトハ之モ餘程考慮ヲ要スル次第デアリマシテ、此事ニ付キマシテハ政府ニ於キテモ大體ノ考ハ持ッテ居リマス、居リマスガ兎ニ角江藤君ノ御話ノ如クニ、何ト申シテモ是ハ契約中ナシデアリマスカラ、契約中ニ如何ナル考ヲ持ッテ、ドウスルトシタ所ガ何トモ致シ方ナイノデアリマス、之モ本年ノ末ニナリマス、契約期限ノ成ルコトデアリマスカラ、其際ニハ能ク考ヘマシテ、此時局ニ適應シテ、造船獎勵等ト此步調ヲ合ハスヤウナ事ニ致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス、是等ノ點カラ申シマス、大體ニ於テ政府ハ此日本ノ海運交通業ト云フコトニ付テハ、勿論重キヲ措キテ居リマシテ、造船ノ如キハ大ニ獎勵

ヲシナケレバナラヌ、又航海ノ如キモ今日ノ如キ所ノ航路ニ甘シテ居ル譯ニハ行カヌノデ、新航路モ開カネナラヌ所モアリマスシ、色々施設シナケレバナラヌコトガアリマスカラシテ、是等ハ進デヤッテ行クト同時ニ、船舶ノ金融ト云フコトハ亦大ニ力ヲ入レテヤッテ行クトス様ニナリマスノデ、斯ウ申上ケレバ大體ニ於テ此船舶交通政策ト云フモノニ於テ、政府ノ矛盾ト云フコトハ私ハ無イト思ウテ居リマス、唯々爰ニ左様ニ御考ノアルハ無理ナラヌト云フコトハ、今日マデノ事情ト、ソレカラ或者ハ其政策ノ一端ヲ爰ニ發表シ、或者ハ契約等ガアル爲ニ政策ヲ發表スルコトガ出來ナイト云フヤウナ事情ガ綜合シテ居リマスカラシテ、ソコニ幾ラカ曖昧模糊タル所ガアルト云フヤウナ御感シガ起ルノデハナイカ、併シ政府ニ於キマシテハ大體右ノ如ク、造船ナリ或ハ航海ナリ、兎ニ角モ海運行政ト云フコトニ付テハ、統一シタル一ツノ主義ヲ持ッテ斷然ト進ム決心ハ致シテ居リマスノデアリマスカラ、其點ハドウカ誤解ノ無イヤウニ御願致シタイト思ヒマス

○委員長(江藤哲藏君) ソレカラ大體ニ返リマシテ最初大藏大臣ノ御説明中ニ、船舶金融ニ付テハ、種々ノ方法ガ想像シ得ル、或ハ特設機關ヲ設クルモ其一ツデアル、或ハ又保險會社其他ノモノ、融通ニ俟ツモノ一ツデアルガ、日本興業銀行、勸業銀行、日本銀行等ノ從來ノ特殊銀行ノ中デハ、先ヅ興業銀行ガ斯ウ云フコトヲ取扱フノニ相當シテ居ルト認ムルカラ此案ヲ出シタデガ、孰レ後日或ハ特設銀行ヲ設クルノ必要ガ起ッテ來デ、サウ云フコトニナルカモ知レヌト云フ御話デ、如何ニモ御尤モコトデアリマスガ、其說ヲ能ク味ヒシテ何ダカ今回ハ多少十分ニ確信ハナイガ、試驗的ニヤッテ見ヤウト云フヤウナ御意中ノ如クニ私ハ聽取ッテデアリマスガ、果シテサウデアルカドウカ其事ヲ……

○國務大臣(勝田主計君) 私ノ説明ノ不完全ナル所ヨリシテ、唯今ノヤウナ疑問ヲ御起シナルコトノ動機ヲ與ヘタト云フコトハ、私ハ甚ダ遺憾ニ堪ヘマセヌガ、唯ダ將來ノ事ハ何人モ是ハ豫想ハ出來ヌノデ、殊ニ我國ノ如キハ御承知ノ通り非常ニ長足ノ進歩ヲスルノデ、今日はナル事ハ明日非トナリ今日非ナル事ハ明日是トナル、是ハモウ各種ノ方面ニ於テ起リ得ル事デアリマスノデ、今日ノ狀態カラ申シマスレバ政府ハ此特殊銀行ヲ設クルト云フコトハ、是ハ斷然行カヌト云フ見解ヲ持ッテ居リマス、併ナガラ將來然ラバドウデアアルカト云フコトニナルト、是ハ今日ト雖モ宜イト云フ論者モアル、ソコデ將來ニ立至リマスルコト云フコト、或ハ此吾々ガ考ヘテ居リマスル所ノ特殊銀行ハ行カヌト云フ詰リ理由ガ悉ク排除サレテ、特設銀行ガ出來ルヤウナ時代ニナレバ、是ハ特設銀行ト云フモノガ出來テモソレヲ惡ルイト云フ精神デハナイノデアル、今日ハ兎ニ角此特殊銀行ヲ設クルト云フコトハ政府トシテハ大體ニ於テ其說ヲ容レナイ、斯様ナ事ヲ詰リ申シタ次第デアリマシテ、其趣旨ハ先刻來續々申述ベテ置キマシタカラ此處ニハ略シマスガ、極メテ不徹底ナル意見ヲ持ッテ居ルト云フノデハナイノデアリマシテ、今日ハモウ極ク徹底シタル意見、即チ特殊銀行ト云フモノハ行ケナイ、ドウシテモ或ル特殊銀行ニ兼營セシムルコトガ得策デアルト云フ意見ヲ持ッテ居ル、併シ是ガ色々見マシテ、將來ノ狀況ニ依リマシテ、特設銀行ガドウシテモ持ヘナケレバナラヌ必要ガ起ッテ來ルナラバ、ソレハ決シテ今日カラ否定シテ置ク必要ガアリマセヌカラシテ、ソレマデヲ私ハ此處デ否定シテハ申サナカッタデアリマス、左様ナ次第デアリマス

○政府委員(森俊六郎君) 一寸私ノ説明が甚ダ不徹底デアッタヤウテ、十分ニ調査が出来テ居ラヌデハナイカト云フ御尋ガアリマシタ、併シ此材料ニ付キマシテハ貸付ノ標準デアルトカ云フコトニ付キマシテハ、遞信省ト十分ニ打合せガ濟ンデ居ル、サウシテ決定ノ腹案ヲ持ッテ居ルノデアリマス、私ガ此方ニ餘リ専門的ノ智識ヲ持チマセヌト定款其他ニ付キマシテハ實ハ政府ガ極メマスモノデハナイ、興業銀行ガヤルト致シマスレバ、其總會ノ決議ニ依テ極メルト云フコトニナリマス、ソレヲ政府ガ認可ヲ與ヘルコトニナリマスカラ、此處テ極ツタ意見ヲ申上ケルコトハ如何ト思ヒマシテ、多少留保ノ意味ヲ以テ御答シタノデアリマス、政府トシテ決シテ調査ガ粗漏デアルトカ、或ハ確定ノ腹案ヲ持ッテ居ラヌト云フ譯デハナイ、腹案トシテ相當ノ腹案ヲ持ッテ居ル積リデアリマス、併シ是ガ實際ニ實行スル間ニハ多少ノ變更モアルカモ知レヌ、相當ノ手續ヲ經ナケレバナラヌコトデアリマス、大體ニ於キマシテ今日考ヘテ居ル所デハ、銀行ニ於テ抵當トシテ取リマス船舶ハ、貸付金ノ最終ノ償還期マデニ進水後二十五年ヲ經過シナイモノニ限ル、銀行ニ於テ抵當トシテ徵スル船舶又ハ製造中ノ船舶ハ保險ニ附シタルモノニ限ル、船舶又ハ製造中ノ船舶ヲ抵當トシテ貸付ケル金額ハ、銀行ニ於テ鑑定シタル價格ノ三分ノ二以內トス、但進水後一年百分ノ四ノ割合ヲ以テ遞下シタル評定製造價格ヲ超エルコトヲ得ズ、斯様ナル大體ノ方針ニ依リマシテ、定款ニ於テ之ヲ規定スル腹案デアリマス、左様ニ御承知ヲ願ヒマス

○委員長(江藤哲藏君) 今日ハ是レデ散會致シマス

午後四時二十六分散會